



ページ番号『29』・『33』は、ありません。
ページ番号のない加除ページをご利用ください。
加除ページは右上に表記してあります。
ページの最下の中央に①や-1-でページ番号を付けてます。

A4サイズで横に2ページずつ印刷した場合
偶数ページが左側、奇数ページが右側になるよう
加除ページを適当に挿入して調整してください。

目次のP. 1～P. 32がベースです。

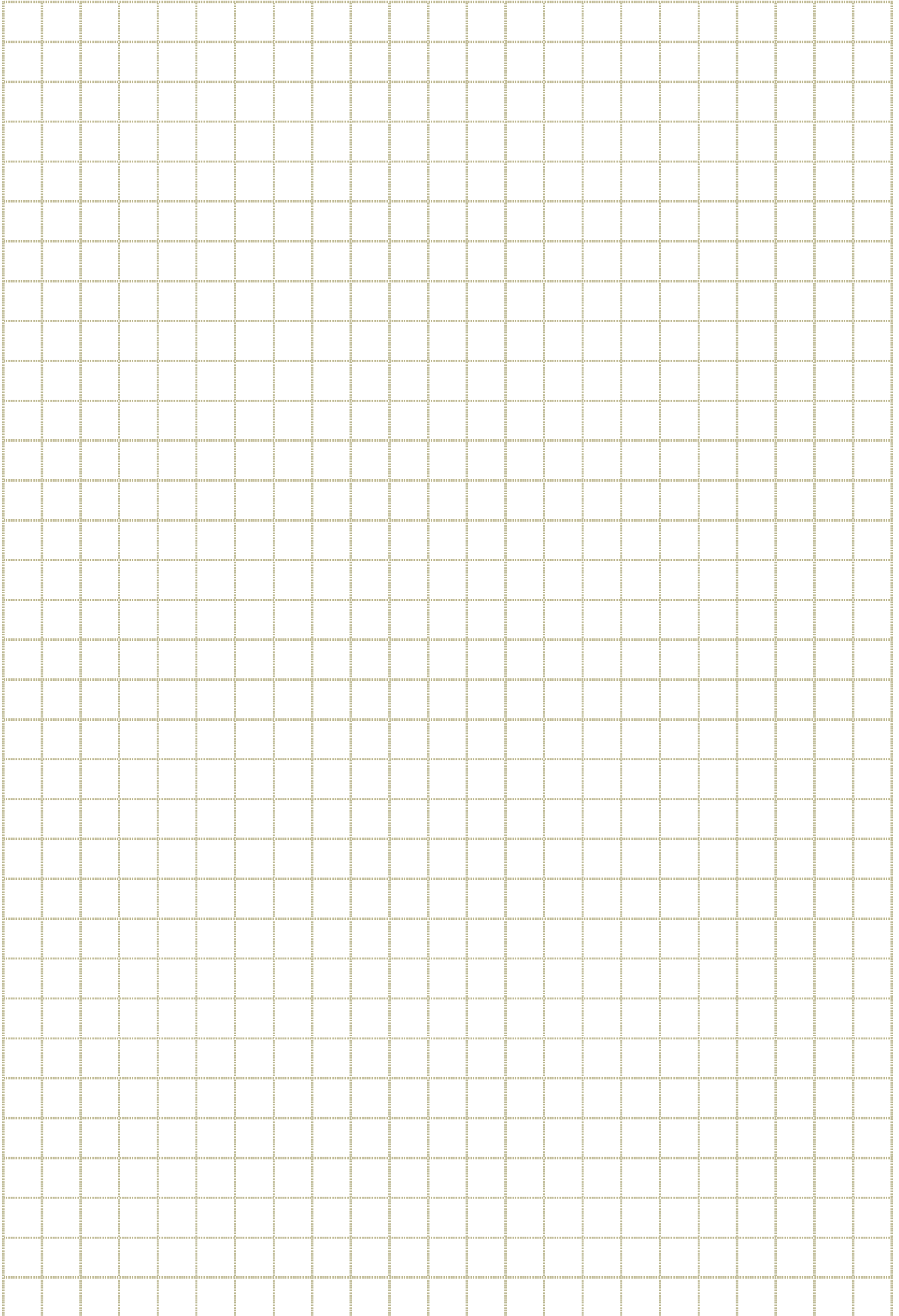
『このページ、初見者はスキップ』を除いたものが、
P. ①～P. ⑩で簡易版となります。

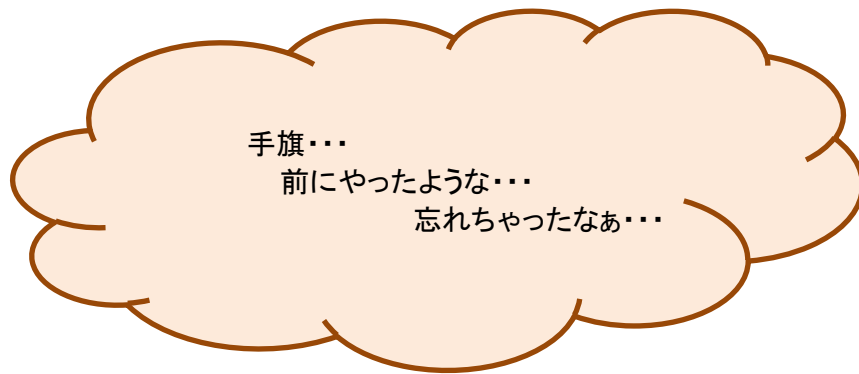
P. 34～P. 39は参考資料です。
簡易版には不要です。

※加除ページは、適当に挿入・削除するなどしてご利用ください。

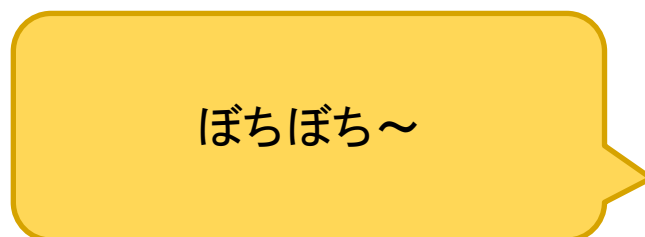
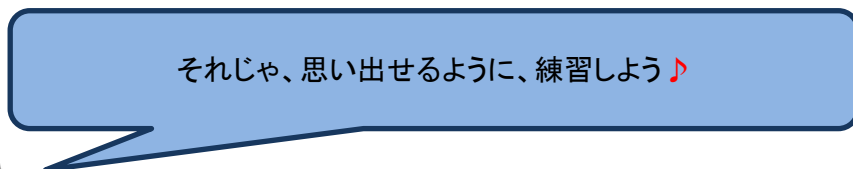
スカウト関係の旧来の資料等(おそらく昭和中期まで)
現行の日本船舶信号法(国土交通省ホームページ掲載)
を見比べながら、作成しております。
そのため、現在の実務上の交信法と違っているかも知れません。
ご容赦を

☆ 現行のスカウトハンドブック・ベーシック(2020.7.2第2版第2刷)と異なる点があります。
ご利用にあたっては、都道府県または地区のコミッショナーやトレーナー、進歩委員等にご相談ください。





Ver.5
R4.2.21



 サルの「フランキー」

 ニシキヘビの「カー」

 ハゲワシの「ジィギィ」



クマの「バルー」

手旗 目 次

表紙・目次

ページ番号

1 . 班長さん・次長さん 教えて♪ 【その1】	P . ①	1 旗の持ち方・旗の左右・仕舞い方
2 . 『旗あげゲーム』	P . ②	2
3 . 班長さん・次長さん 教えて♪ 【その2】	P . ③	3 旗の振り方・原画
4 . 原画図	P . ④	4
5 . 原画一覧	P .	5
6 . 50音一覧	P .	6
7 . 交信区別形象	P .	7 起信形象～略語形象
8 . 記号形象	P .	8 数字形象～問符形象
9 . 班長さん・次長さん 教えて♪ 【その3】	P . ⑤	9 進級課目・技能章細目の抜粋
10 . 『アルプス一万尺』 替え歌	P . ⑥	10 よく使う交信区別形象・記号形象
11 . 班長さん・次長さん 教えて♪ 【その4】	P . ⑦	11 文字形象
12 . 文字や数字の打ち方	P . ⑧	12 基本的な文字と数字の打ち方
13 . 文字や数字の打ち方 【続】	P .	13 応用的な数字・欧文(アルファベット)などの打ち方
14 . 『通信ハイキング』 おまけ	P . ⑨	14
15 . 交信の要素【指呼・信号文・送信】	P .	15 簡略
16 . 交信の基本【指呼－応信・送信－解信】	P . ⑩	16 簡略 起信の意味ふたつ(指呼と始信)
17 . 消信 及び 再送 【送信者 一部取消】	P . ⑪	17 消信形象 打ち間違いの訂正
18 . 消信 及び 再送 【送信者 全部取消】	P . ⑫	18 消信形象 終信形象 信号全部の取り消し
19 . 消信 及び 再送 【受信者 一部不明】	P . ⑬	19 消信形象 ○○ カラ サラ
20 . 消信 及び 再送 【受信者 全部不明】	P . ⑭	20 消信形象 サラ
21 . 照 校	P .	21 ムニ イナ ヨシ
22 . 中継法2【中継依頼 中継その1】1/3	P .	22 送信者→中継者 依頼
23 . 中継法2【中継遂行 中継その2】2/3	P .	23 中継者→受信者 遂行
24 . 中継法2【中継報告 中継その3】3/3	P .	24 中継者→送信者 報告
25 . 長文の送信 【句点】	P . ⑮	25 区切り 第14原画 句点形象の用法
26 . 二以上の信号文の送信 【新章】	P . ⑯	26 区切り 第7原画 新章形象の用法
27 . 中止 及び 再開【送信者 中止・再開】	P .	27 句点形象 マテ
28 . 中止 及び 再開【受信者 中止・再開】	P .	28 消信形象 マテ
29 . 『おどるハンテウワ』 おまけ		
30 . 文字形象 (ABC順) 早見表	P .	30 交信区別・記号形象、指定・手続記号、数字傍訓
31 . 文字形象 (原画順) 早見表	P . ⑰	31
32 . 文字形象 (50音順) 早見表	P . ⑱	32

ネーム

ここまでできれば、大したものだ♪



手旗

資

料

資料・目次

ページ番号

1 . 交信の要素【指呼・信号文・送信】	P .	34	詳細	指定記号	手続記号
2 . 交信の基本【指呼－応信・送信－解信】	P .	35	詳細		
3 . 指呼－応信・送信－解信	P .	36	詳細		
4 . 消信 及び 再送	P .	36	手続記号	サラ	
5 . 照 校	P .	37	指定記号	ムニ	手続記号 イナ ヨシ
6 . 数字の送信	P .	37			
7 . 数字傍訓	P .	37			
8 . 記号の筆記	P .	37			
9 . 欧文の送信	P .	37			
10 . 中継法1	P .	38	中継を買って出る場合		
11 . 中継法2	P .	38	中継を依頼する場合		
12 . 長文の送信	P .	39	句点形象		
13 . 参考 二以上の信号文の送信	P .	39	新章形象		
14 . 中止 及び 再開	P .	39	手続記号	マテ	

ほほう！おぬし♪
ここまでマスターなら、スカウトのなかで
日本一の手旗の使い手かも知れぬぞ♪



ページ番号『29』・『33』は、ありません。

1	班長さん・次長さん 教えて♪【その1】	P. ①	1	旗の持ち方・旗の左右・仕舞い方
2	『旗あげゲーム』	P. ②	2	
3	班長さん・次長さん 教えて♪【その2】	P. ③	3	旗の振り方・原画
4	原画図	P. ④	4	
5	班長さん・次長さん 教えて♪【その3】	P. ⑤	9	進級課題・技能章細目の抜粋
6	『アルプス一万尺』 替え歌	P. ⑥	10	よく使う交信区別形象・記号形象
7	班長さん・次長さん 教えて♪【その4】	P. ⑦	11	文字形象
8	文字や数字の打ち方	P. ⑧	12	基本的な文字と数字の打ち方
9	『通信ハイキング』 おまけ	P. ⑨	14	
10	交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】	P. ⑩	16	簡略 起信の意味ふたつ(指呼と始信)
11	消信 及び 再送 【送信者 一部取消】	P. ⑪	17	消信形象 打ち間違いの訂正
12	消信 及び 再送 【送信者 全部取消】	P. ⑫	18	消信形象 終信形象 信号全部の取り消し
13	消信 及び 再送 【受信者 一部不明】	P. ⑬	19	消信形象 ○○ カラ サラ
14	消信 及び 再送 【受信者 全部不明】	P. ⑭	20	消信形象 サラ
15	長文の送信 【句点】	P. ⑮	25	区切り 第14原画 句点形象の用法
16	二以上の信号文の送信 【新章】	P. ⑯	26	区切り 第7原画 新章形象の用法
17	文字形象 (原画順) 早見表	P. ⑰	31	
18	文字形象 (50音順) 早見表	P. ⑱	32	
ネーム		BSの手旗は、これでマスターだ♪ 		

参考

第17条2	送信者 甲 (発信者)	中継者 丙	受信者 乙 (着信者)
中継依頼	丙に中継を依頼する		
中継法2	1 指呼: 起信形象 丙 連送 2 応信: 応信形象 3 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 終信形象	4 解信: 解信形象 5 指呼: 起信形象 乙 連送 6 応信: 応信形象 7 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 終信形象 8 解信: 解信形象	
中継遂行			
中継報告	9 指呼: 起信形象 甲 連送 10 応信: 応信形象 11 解信: 解信形象 乙 12 解信: 解信形象 弥栄 礼儀 中継を終わる		

※ 11の“解信形象 乙”は、乙が無事に受信し、解信したことを意味する。発信番号がある場合の一例: “解信形象 タナ △12△ 乙”

※ 12の解信の際、スカウトは礼儀正しいのであるから、お礼を送る。“解信形象 イヤサカ” “解信形象 アリガトウ” など

※ 中継では、信号文の発信者名・着信者名を省略してはならない。指定記号と発信番号は必要なければ省略できる。

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

略語開始	ヤ	ノ	ハ	略語終了
				
略語	原姿	8原画	4原画	原姿
原姿	3原画	原姿	10原画	原姿
略語				

※例 : あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略すこととしていた。



気が向いたら、体操の代わりに、練習してみようかな♪

からだを動かさないと、あたまも良くならないし・・・

項 目		自由に記録帳として使ってね♪ 日付けを入れるといいわね♪	
1	原 画 (0原画、第1～14原画、逆2原画)		
2	ア行		
3	カ行		
4	サ行		
5	タ行		
6	ナ行		
7	ハ行		
8	マ行		
9	ヤ行		
10	ラ行		
11	ワ行		
12	濁点・半濁点・長音		
13	交信区別・記号の形象		
14	総合練習		



原画を覚えたら、次は、カナ文字を形であらわしてみよう。

多くの文字は、受け手にとって、カタカナに見えるようになっているよ。

だから、送り手は、カタカナをひっくり返した形にするよ。

いっぺんに覚えるのは大変だけど、
ちよつとずつ、繰り返し練習していると、体になじんで、自然に覚えられるよ。
仲間に『ス 1 2 5』と読み上げてもらいながら、送る方法もあるけど、
やっぱり、体が動作を覚えないと、なかなか うまくはできないよ。

右手に赤旗、左手に白旗 まず、体を動かしてみよう♪



旗の持ち方

- ・人差し指を伸ばし、柄を押さえ、親指と一緒に旗が真っ直ぐになるようにする。残りの三指(中指、薬指、小指)で柄を握る。「包丁の握り方」と覚える。

にじまないもので
名前を入れておこう♪
みんなが、同じものを持ってるから
名前がないと、分からなくなるよ♪



旗の左右

- ・赤旗は**右手**に、白旗は**左手**に持つ。「**赤い実 白砂**」と覚える。

- ・赤旗は**右手**、白旗は**左手** これをしっかりと身体で覚える。

白砂青松(はくしゃせいしょう)
意味: 白い砂浜と青々とした松林、日本の美しい海岸の風景
この“砂”の字は元々は“沙”という字だったようね♪
“白砂”は、“はくさ”と読むこともあるようなので、
ここでは、“はくさ”と読んでね♪

『旗あげゲーム』YouTubeなどでも紹介されているよ♪
赤あげて♪白あげないで♪赤さげる♪
赤あげて♪白あげて♪赤さげないで♪白さげる♪

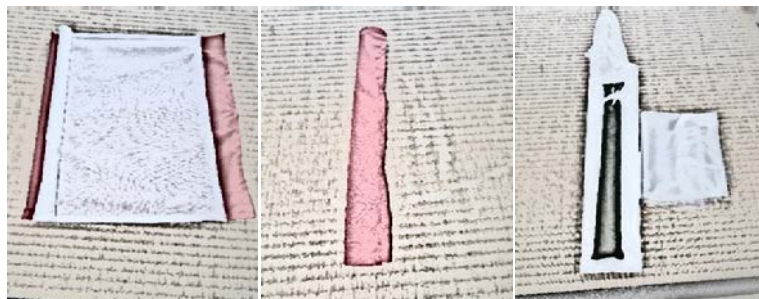


- ・声のトーンは高めに、楽しげにリズムをつけて行くとよい。

旗の仕舞い方

- ・① 先に 白旗を 数回巻き、赤旗に 重ねる。
- ・② 白旗を 赤旗で 包むように巻く。
- ・③ 雨などで 濡れないようにする。
- ・たまには、手もみ洗いで、キレイにしよう。

- ・白旗が汚れると背景と区別し難くなるため、汚れが付かないようにしましょう♪
- ・雨天時に使用した際は、赤旗の色が、白旗に移らないようよく乾燥させてから仕舞う。
- ・色移りしないよう工夫しよう♪



①

②

③



ザック(リュック)のなかで、水筒のお茶をこぼしたり、お弁当の汁が出て、大事な進級手帳や手旗などを濡らして、汚してしまうことがあるね。
また、ハイキングやキャンプ中、雨になり濡らしてしまうことも…。
ザック(リュック)の中身を濡らさないように工夫してみよう。

『旗あげゲーム』



赤あげて 白あげて 赤さげないで 白さげる 赤さげて 白あげて 赤あげた～ら 白さげる



なかなか やるわね♪

かんたん かんたん♪



じゃ～ だんだんと
スピードあげるね♪



赤あげて 赤さげて 白あげたら 赤☆@白△Ω@≥θ◎×○◇▽@!.....☆ミ
ゴオー



ちよ ちよちよ ちよっとー
うわあ～ はやすぎ～♪
＼(@◇@)💧

ズババ バハハハハ

わあ～はっや～い

ぼくは めがまわる～



さすがに はやすぎた？
(=^・^=)てへ♪
みんなも アレンジしてみてね♪



旗の振り方



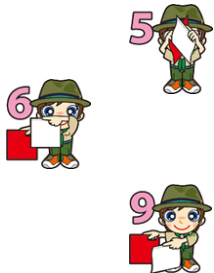
- ・旗の持ち方、原姿の姿勢を確認する。
- ・両脚は左右に少し開き、安定した姿勢をとる。背筋を伸ばす。
- ・腕の付け根を力点に、**腕・人差し指・旗先まで、真っ直ぐ**にする。
第6原画など特別なものを除いて、基本は、手首や肘を曲げない。
- ・上へあげる旗は 前からあげ、前からおろす。
- ・横や斜め下へ出す旗は 横から出し、横からおろす。
- ・斜め上へ出す旗は 足先から出し、足先へおろす。



第11原画などは、体をひねらない。まっすぐな姿勢を保とう。ついつい、自分の旗を見てしまうと、姿勢が崩れてしまうよ！

例：第7原画の場合

赤旗(右手)は前から上へあげる。
白旗(左手)は横から出す。



- ・第5原画は、両腕を真っ直ぐ上にあげると同時に、手首を曲げて白旗を前に交差する。**肘を曲げない**、手首を曲げる。手のひらが気持ち上向きになってもよい。
- ・第6原画は、左手を前から体側を離れないよう最短を移動し、頭上で右方水平に出す。
- ・第9原画は、白旗がしっかり体側より外になるようにする。

原画

- ・改めて、旗の持ち方、原姿の姿勢を確認する。
- ・最初はゆっくり、動作を確認しながら行う。



原画は、カナ文字や数字を表わすのに使うんだ♪



通信や交信の「信」は、「まこと」とも読むよ。
真実、誠実、信頼などにも通じるね♪



水平にすべきところは水平になっているか

斜めにすべきところは斜めになっているか など

相手(受信者)に伝えるためには、形がとっても大事なことを指導する。

- ・原画を全員で練習した後、2人一組などで、交互に、原画の形象と読む練習をする。
- ・原画の練習(送信の形象・受信の読み)は、特にしっかり行う。

なんども 旗をふっていると
自然と体がおぼえてくるよ♪



指先や体を動かすのは、脳細胞にも良いのよ♪
手旗の練習は、運動にもなって、一石二鳥よ♪





原 姿



まずは、原画(げんかく)を体で覚えよう。
広いところで、人や物に 当たらないところで練習だよ
お部屋とか、人や物があるところなら、旗を短く持ったり、
旗のかわりに、別のもの(例、ハンカチ)で代用して、
あぶなくないようにしよう。

原姿(げんし)は、文字(カナ文字や数字)を送る前 や 送った後 の姿勢だよ。
一文字ごとに この姿勢に戻るのだ。記号などを送る場合も同じだよ。



零(レイ)原画

右手に**赤旗** 左手に**白旗**

人さし指・親指を伸ばし、にぎる

数字を送信するときに使うのは、0原画 と 第1原画から第9原画 までだよ。

カナ文字を送るときは、第1原画から第14原画、それと逆2原画を使うよ。



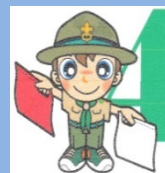
第 1 原画



第 2 原画



第 3 原画



第 4 原画



逆(白)2 原画

第5原画は、両うでをまっすぐ 上にあげて、
同時に、**両手首を曲げて、旗のなかほどで、
交差**するのよ。
両ひじは、曲げないように気を付けよう。
このとき、白旗が赤旗の前になるように。



第 5 原画



第 6 原画



第 7 原画



第 8 原画



第 9 原画

第6原画は、左腕は、イメージとしては、
頭のうえで、直角に曲げるといいよ。
白旗は体の前から最短距離で移動よ♪



第 10 原画

赤あげて♪ 白あげかわりに♪ 赤さげる♪



ふ〜ん なんだか楽しそうね♪ そろそろ…



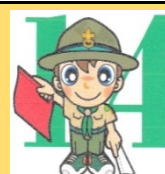
第 11 原画



第 12 原画



第 13 原画

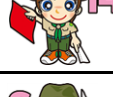


第 14 原画

☆後のページで、“文字”と記載があるのは、基本的にはカナ文字で、数字の場合は“数字”と記載してます。



旗は、人差し指を旗先の方へ伸ばし、親指とともに柄を支え、残りの三指で握る。(包丁の握り方)
第6原画などの特殊な場合を除き、腕の付け根、肩関節を起点に、旗先まで真っ直ぐ伸ばしたまま動かす。体の軸はまっすぐに♪
文字形象は、メリハリを付け、第1動から第2動へ・第2動から第3動へは、最短距離を通るように心掛ける。

第15条1 原画形象	形象	作為法	用途			
げんし 原 姿		両手を垂直に垂れる。両足を半歩開き、安定した姿勢をとり、交信相手に正対する。高所などでは安全帯等で転落防止をする。	濁点・半濁点・長音も一文字とする。一文字形象ごとに原姿に戻る。数字・記号形象・交信区別形象も同じ、原姿に戻る。			
れい げんかく 零 原画		右手をもって垂下の位置から左方に大きく廻し1円を画く。肘を曲げず、肩関節で回す。	数字 0			
いち 第1原画		両手を左右水平に横から出す。横へあげる旗は、横からあげる。横にある旗は、横からおろす。	数字 1	文字		
に 第2原画		左手を垂れ、右手を垂直に前からあげる。上へあげる旗は、前からあげる。上にある旗は、前からおろす。	数字 2	文字 長音 ー		交信区別の第1動  
さん 第3原画		左手を左45度上に足先から、右手を右45度下に横から出す。	数字 3	文字 ノ		
し 第4原画		右手を右45度上に足先から、左手を左45度下に横から出す。	数字 4	文字 へ		
ご 第5原画		両手を垂直に前から頭上にあげ、同時に両手首を曲げて旗の中ほどで交差する。肘は曲げない。	数字 5	文字		
ろく 第6原画		右手を右方水平に、左手を前から体側を離れないよう最短を移動頭上から右方水平に出す。白旗(左手)のあげおろしは前から最短を移動。	数字 6	文字 ニ		
しち 第7原画		右手を垂直に前からあげ、左手を左方水平に横から出す。	数字 7	文字 レ	記号 新章『 やや長く形象等	
はち 第8原画		左手を垂れ、右手を右方水平に横から出す。	数字 8	文字		
く 第9原画		右手を右方水平に横から出し、左手を前から最短距離を移動し、右手の約35度下にしっかり出す。	数字 9	文字 フ		
じゅう 第10原画		両手を左右45度上にあげる。斜め上にあげる旗は、足先からあげる。斜め上にある旗は、足先へおろす。		文字 ハ		交信区別の第1動 
じゅういち 第11原画		両手を平行のまま左45度上から右45度下に振り下す。右肘(赤旗側の肘)を少し曲げながら頭上へ、前から最短で移動。おろす際姿勢を崩さない。		文字 ク	記号 帰除線 /	
じゅうに 第12原画		両手を垂直にあげる。あげおろしの間隔は、肩幅の距離を保つ。上へあげる旗は、前からあげる。上にある旗は、前からおろす。		文字 リ		交信区別の第1動  
じゅうさん 第13原画		右手を垂れ、左手を左45度上に足先からあげる。		文字 濁点 〃	記号 数字 △ 3倍長く形象	
じゅうし 第14原画		左手を垂れ、右手を右45度上に足先からあげる。		文字 半濁点 。	記号 句点 、 3倍長く形象等	交信区別の第1動  
逆2原画 (白2原画)		右手を垂れ、左手を垂直に前からあげる。		文字	逆2原画(白2原画)は、文字形象 チ・エ に用いる。応信形象は、第2原画と逆(白)2原画とを交互にあげる。	

ア 9 3
イ 3 2
ウ 6 9
エ 1 逆2 1
オ 1 2 3

カ 8 3
キ 6 2
ク 11
ケ 7 3
コ 8 1

サ 1 12
シ 5 7
ス 1 2 5
セ 9 7
ソ 5 3

タ 11 5
チ 7 逆2
ツ 12 3
テ 6 3
ト 2 5

ナ 1 3
ニ 6
ヌ 9 4
ネ 9 2 1
ノ 3

ハ 10
ヒ 1 7
フ 9
ヘ 4
ホ 1 2 10

マ 9 5
ミ 6 1
ム 7 5
メ 3 5
モ 6 7

ヤ 8 4
イ A
ユ 9 1
エ
ヨ 8 6

ラ 5 9
リ 12
ル 3 7
レ 7
ロ 7 8

ワ 2 9
ヰ 6 12
ウ
ヱ 9 3 1
ヲ 1 9

ン 5 1
濁点 13
半濁 14
長音 2

受信のときのコツ

- ① 次の文字を予想しない。
予想が外れると混乱してしまうからだよ♪
- ② 分からないところがあっても、あせらず こだわらず 後の文字を読むことに集中だよ♪
- ※ 交信法に、不明なところの送りなおしなどお願いする方法もあるからね。
- ③ 不明箇所も前後の文字から推測できることもあるからね♪

手旗は、日本独自の旗による信号法だ。
手旗のアルファベットは日本独自だから、
外国の人との交信には使わないぞなワシ♪



交信区別形象

第15条4 交信区別形象	形象	作為法	第1動	用途
起信		両手を垂直にあげ、 各左右水平方向まで 適当な回数振る。 ※ 指呼の場合は応答あるまで連送		指呼: 受信者を指呼する場合 又は 始信: 送信を始める場合 に用いる。
応信		両手を交互に(赤旗・次に白旗と交互に) 適当な回数上下に振る。 ※ 対指呼の場合は指呼をやめるまで連送		信号に応じる場合 に用いる。
中継		両手を左右斜前45度上に出し、 前方で交叉させて 適当な回数振る。	 第10原画より前	信号を中継する場合 始信の合図の起信形象の代わり に用いる。
消信		右手を右45度上にあげ、 垂直上方と右水平方向との間で 適当な回数振る。 		信号の 全部又は一部 を 取り消す場合 に用いる。
終信		第12原画 ※ やや長くあげる。		送信を終った場合 に用いる。
解信		両手を垂直にあげ、 平行のまま左右に 左、次は右へと 適当な回数大きく振る。		信号を解読した場合 に用いる。
発動		第14原画をやや長めにあげ 発動用意。 右手をさっと下し 発動。		発動を表す場合 に用いる。 送信開始を明確にするため、 信号文の前 に用いる。
略語		両手を左右斜前45度下に出し、 前方で交叉させて 適当な回数振る。	 括弧形象より前	略語の前後 に附する。

※ 略語形象は、現在、日本船舶信号法では使用されていない。

※ 応信形象の作為法は、2旗を直立 又は 交叉して 片手に持ち 上方にあげて 上記の方法 に代えることができる。

※ 以前は、2旗を 片手に持ち 応信形象なら上下に振り、解信形象なら左右に大きく振ることによって、上記表中の方法 に代えていた。

発動の例： ▶送信者 起信(指呼) ▶受信者 応信 ▶送信者 起信(始信) - 発動 - 信号文(本文) - 終信 ▶受信者 解信

略語の例： 山鳩班の班長を“ヤノハ”と略すこととしていた場合 “略語形象 ヤノハ 略語形象” となる。



発動は、かけっこのときにも使えるね♪
位置について、用意 ドン！

発動について
スカウト関係の資料では、起信の後に用いると記載があります。
起信－発動－本文－終信

記号形象

第15条3 記号形象	筆記に使用	形象	作為法	用途
数字 一名(別名) 白旗	△		第13原画 ※ 濁点の3倍長くあげる。	数字を送信する場合 に用いる。
読点	。		左手を垂れ、右手を右45度下に出す。	小数点 として、 又は 帯分数の整数と分数との間 に用いる。 “整数 読点 小数”の順 “整数 読点 分子 帰除線 分母”の順
帰除線	/		第11原画	帰除線 として用いる。 “分子 帰除線 分母”の順
括弧	()		両手を左右45度下に出す。	信号文中に 註釈又は数字傍訓 を挿入する場合 又は 名詞等でその解説に便ならしめる 必要がある場合 に、 その前後に附する。
句点	、		第14原画 ※ 半濁点の3倍長くあげる。 ※ 解説・応答を求める場合は、応答あるまで (解信)	各符字、語句等の間 に用い、 その区切を表わす。 和文中の欧文単語の間 にも用いる。
小括弧	「 」		右手を垂れ、左手を左方水平に出す。	和文中に欧文(アルファベット) を含む場合 に その前後に附する。
新章	『 』		第7原画 ※ やや長くあげる。 ※ 解説・応答を求める場合は、応答あるまで (新章)	二つ以上の信号文を送信する場合 信号文の間 に用い、 その区切を表わす。
もんぷ 問符	?		右手を垂れ、左手を左45度下に出す。	照校や転送時 脱字等の不明箇所 に用いる。

※ 問符形象は、現在、日本船舶信号法では使用されていない。

※ 句点は読まない形象、読点は読む形象。日常、文書で使うそれらとは意味が異なる。

※ 日本船舶信号法では、信号文を作成等する際、句点は“、”と書き、読点は“。”と書く。

「ニ△3(ミ)ツレ」



句点の例： キウイ 句点形象 ミカン 句点形象 クリ

キウイ 、 ミカン 、 クリ

数字の例： 一組の数字 例えば 1 2

小数点以下の数字がある場合、読点を用いる。

数字形象 整数 読点 分子 帰除線 分母 数字形象 の順に形象

数字形象 整数 読点 分子 帰除線 分母 括弧形象 数字傍訓 括弧形象 の順に形象

△ 1 2 △

△ 3 。 5 △

△ 1 2 (ヒフ)

△ 3 。 5 (ミ。イ)

△ 3 。 1 / 2 △

△ 3 。 1 / 2 (ミ。ヒ / フ)

括弧内にも読点・帰除線を使うよ♪

括弧の例：“カキが食べたい”では、果物のカキか、海産物のカキか 判らない。 注釈： カキ (クダモノ) カキ (カイサンブツ)

小括弧の例： It is a piece of cake 「ム、ラ、イ、ツヘニヘ、レチ、ニイワヘ」 ※単語と単語の間は、句点で区切る。

このページ、初見者はスキップ



班長さん・次長さん 教えて♪【その3】



原画のほか いっぱいあるみたい・・・こんがらがっちゃう



あははは 心配しなくても 今すぐ全部をできるようになる必要はないよ♪
まずは、文字の形象の仕方と、よく使う交信区別・記号の形象、その用い方を覚えよう♪
替え歌を考えてきたんだ。それで覚えよう♪



君の場合は、今、初級だから、“原画の**理解**”と“10文字程度の**語句**”の“発信と受信”ができれば合格ね♪
理解は“わかった”ってことで、暗記することではないよ♪

え、じゃ 先週の集会で教えてもらった 0(レイ)～14原画・・・それと逆の2原画があって
1～14原画 と 逆の2原画 でカナ文字を作ること それと、0原画 から 9原画 までを 数字で使うっ
てことでのいいの？



そうそう、そういうこと。それにしても“理解”でいいところ プラスアルファ 覚えてるなんてえらい♪
あとは、10文字程度の語句の発信と受信ね♪ “程度”なのと“語句”でいいのよ。
必ずしも10文字以上でなくてもいいし、文章である必要はないよ。“しりとり”などで練習すればいいよ♪

まずは、それぞれの級や技能章、進級手帳に基準がちゃんと書かれているから、
よく読んで各自取り組みればいいのね。ことさら難しく考えることないのね♪



そういうこと♪

書いていることが、合格の基準でそれ以上でもそれ以下でもないよ。

もちろん、合格したら、それを励みに更なる高みを目指そう♪

それぞれの課題への挑戦は、各自の取り組み・努力と、班の仲間との協力・助け合うことの両方が大事だ。

“できる”の状態になるよう、どう努力し、考えて工夫したかだね♪

一人で頑張ることも大事、だけど自分一人では難しいとき、仲間に協力を求めることも大事だよ♪

それと、仲間のSOSには、しっかり協力してあげよう♪



参考	2級・課目3ー(6)① 片かな手旗信号で 15 の原画を 理解 し、10 文字 程度 の 語句 を発信、受信 できる 。
R4.2.21	1級・課目3ー(6)① 片かな手旗信号で 20 文字 以上 の 文章 を発信、受信 できる 。
現在	技能章課目 10.通信章・細目(1) 隊長認定 1. 100m以上離れた2点 で手旗の 送受信 ができる。 技能章課目 45.信号章・細目(1) 考査員認定 1. 手旗信号法を 知り 、野外の 150m以上離れた2点間 で正しい 交信符号と手順 を用いて、 数字を含む150字の通信文 を1分間35字の 速度 で 発受し10字以上を誤らぬ こと



次長、そろそろ誰か言い出さないかな。集会所だけでは十分な訓練にならないからね♪

ふふ そうね♪ 発信・受信ができるようになって、距離が遠くなるほど認識するのが難しいから♪
早めに経験した方がいいわね♪ 班長、それにしても不思議ね♪ 遠いとなぜ難しいのかしら？



危険に対して、遠くのものより近くのものだろ？ 意識しないといけないのは近くの危険だからじゃない？
それで、遠くのものに対しては認識がしづらいんじゃないかなあ？
1級と通信章とで、ねらいを変えているんだね♪

『アルプス一万尺』 替え歌

あるぶす	いちまんじゃく	こやりの	う～えで	あるぺん	おどりを	さあおどりましょ	ヘイト
アルプス	一万尺	小槍の	上で	アルペン	踊りを	さあ踊りましょ	ヘイト
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン
あかいみ	みぎてに	はくさに	た～てば	よ～こに	はんぼひらいて	あいてにせいたい	ヘイト
赤い実	右手に	白砂に	立てば	横に	半歩開いて	相手に正対	ヘイト
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン
ひとさし	おやゆび	はたさきへ	の～ばし	さんしで	にぎいて	まっすぐのばせ	ヘイト
人差し	親指	旗先へ	伸ばし	三指で	握って	真っ直ぐ伸ばせ	ヘイト
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン

☆ 日本の屋根 日本アルプス
北アルプスの槍ヶ岳(やりがたけ) 標高3,180m
その手前の岩峰 標高3,030m を小槍と云う。
一尺は約30.3cmなので、一万尺は約3,030mとなる。



リズムのよい歌や曲を探して
みんなも 楽しい替え歌作ってみよう♪

れいげんかく	いちげんかく	に～げんかく	さんげんかく	し～げんかく	ご～げんかく	ろくげんかくだ	ヘイト
零原画	一原画	二原画	三原画	四原画	五原画	六原画だ	ヘイト
※ 0	1	2	3	4	5	6	
ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン

替え歌で楽しく練習
※ランラ ララ・・・
この間に、前後交替よ♪

れいげんかく く～げんかく
すうじ けいしょう
いちげんかく じゅうげんかく
かなもじけいしょう ヘイト

しちげんかく	はちげんかく	く～げんかく	じゅうげんかく	じゅういちげんかく	じゅうにげんかく	じゅうさんげんかく	じゅうし
七原画	八原画	九原画	十原画	十一原画	十二原画	十三原画	十四
※ 7	8	9	10	11	12	13	14
ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン

原画のところまでを繰り返してもよいの♪

さ～きに しろはた すうかい ま～いて
先に 白旗 数回 巻いて
あかはたに かさねて まいてしまえ へい♪
赤旗に 重ねて 巻いて仕舞え へい♪

ほかの形象も使って、歌詞を替えてもいいよね♪

起信・応信・中継・消信・終信・解信・発動・略語
句点・新章・数字・括弧・小括弧・読点・帰除線・間符

きしんけいしょうで	しこす～れば	おうしんけいしょうで	おうとう	きしんけいしょう	ししんのあいずだ	しょうしんけいしょう	サラ♪
起信形象で	指呼すれば	応信形象で	応答	起信形象	始信の合図だ	消信形象	サラ
※							
アハハハ	ハハハハ	アハハハ	ハハハ	アハハハ	ハハハハ	アハハハハ	テヘ♪

赤旗・白旗 交互

ちゅうけいけいしょう	ししんのかわりだ	く～てんけいしょう	くぎりのあいずだ	すうじけいしょう	しゅうしんけいしょう	かいしん こうしん	おわふり♪
中継形象	始信の代わりだ	句点形象	区切りの合図だ	数字形象	終信形象	解信 交信	終わり
※							
ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン

◎ ぜんごにはさんで しゅうしん かいしん おわふり♪

さいとの	てんけん	あ～とが	み～えぬ	や～えい	したの	わがはんだ	よし!!
サイトの	点検	跡が	見得ぬ	野営	したの	我班だ	ヨシ!!
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン

(上級班長なら “我 隊だ”)



班長さん・次長さん 教えて♪【その4】

文字形象



- ・文字の形象は、第1動から第2動へ・第2動から第3動へは、**最短を心掛ける**。
- ・最初はゆっくり、動作を確認しながら行う。刹那とめ、メリハリをつける。
- ・送信者はカタカナの裏文字(カタカナをひっくり返した形)を画(えが)く。
受信者にとってはカタカナにみえるようになっていることを確認する。
第1動だけで、カナ文字を形象する「クリノハニフレヘ」が
説明しやすく、初心者には分かりやすい。

- ・赤旗が、おおむねカタカナの書き出しになる。
- ・カタカナの書き順を意識する。

- ・ア行、カ行、サ行など、行ごとに練習する。

実際に旗を動かしての練習(読み上げは最初ゆっくり、慣れればテンポよく)

8拍で一文字形象 イチ・ニ・ノサン・シ・ゴ・ロク・シチ・ハチ・ノ

慣れれば4拍で一文字形象 イチ・ニ・ノサン・シ・ノ

「9-3 ア」「3-2 イ」という具合に読み上げながら練習する。

「ア9-3」「イ3-2」という具合に読み上げながら練習する。

2人一組などで、交互に、文字形象を受信して読む練習。

ある程度 体で覚えたら、ちょっとした時間には、
目をつぶって、頭の中でイメージトレーニング

第1動、第2動、第3動と次々と頭に思い浮かべる。

※ロープ結びなども、最初は床の上などで、本を見ながら結びを作り、結びの特徴のイメージを頭に焼き付ける。次に結びを繰り返し行い、手で結びの順を覚える。そうすると、頭の中でロープの端などをどう動かすか、イメージできるようになるよ♪

チェック

- ・間違えやすい文字、混乱しそうな文字など、各自確認する。
送信する場合、受信する場合 の両方をチェックする。

送信する場合のチェックは、カナを読み上げてもらい 形象できるか確認

受信の場合のチェックは、カナ文字を形象してもらい 読めるか確認

受信は結構むずかしいのよ♪
ある意味、送信よりむずかしいの
カタカナの裏文字といっても、
旗の位置が色々だから！
しっかり 何度も見て 慣れるしかないわね。
でも 大丈夫 仲間がいるから♪



ぼちぼち～♪



カナ文字とちょっと違うもの

「ハホヘチヲタレツラムクヤケミシン」

カナ文字とまったく違うもの

「ウ」

カナ文字の代わりをあてたもの

「ネ」は「子」「ス」は「寸」

逆2原画になるもの

「チ」「エ」

迷いそうなもの 例

「ウラワヲ」「ソツシン」

「ヤヌカ」「ケチ」「ヘノ」

順番を間違えそうなもの 例

「ソメ」「ユヲ」「ヨ」「ロ」

その他 各自チェック

自分が受信するとき、間違えやすいカナ や パツとひらめかないカナ

自分が送信するとき、間違えやすいカナ や 忘れやすいカナ など

文字や数字の打ち方



第1動から第2動、第2動から第3動へ、一文字を形象するまで、原姿には戻らないよ♪
メリハリをつけて、原画をしっかり瞬間とめて、次の動作へ移るんだ。
次の動作に移るときは、**最短を心掛ける**んだ。
一文字を形象し終わってから原姿に戻るんだ♪

エイチ	エ				イ			チ		
	第1動	第2動	第3動		第1動	第2動		第1動	第2動	
形象		1	2	3	4	5	6	7	8	9
	原姿	1原画	逆2原画	1原画	原姿	3原画	2原画	原姿	7原画	逆2原画

スネ	ス (寸)				ネ (子)			
	第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動	
形象								
原姿	1 原画	2 原画	5 原画	原姿	9 原画	2 原画	1 原画	原姿



濁点や半濁点、それと 長音は、それぞれ一文字とするのよ♪



ここからは、見やすくするため、原姿の絵柄は省略するね♪
実際に文字を形象するときは、一文字ごと、原姿に戻ってね♪

ボーイ	ホ				* (濁点)				一 (長音)				イ		
	第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動
濁点															
形象	1 原画	2 原画	1 0 原画	原姿	1 3 原画	原姿	2 原画	原姿	3 原画	2 原画	原姿	3 原画	2 原画	原姿	原姿

ポール	ホ				° (半濁点)				一 (長音)				ル		
	第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動		第1動	第2動	第3動
半濁点															
形象	1 原画	2 原画	1 0 原画	原姿	1 4 原画	原姿	2 原画	原姿	3 原画	7 原画	原姿	3 原画	7 原画	原姿	原姿



各数字は、一文字として形象するよ♪
一組(ひとまとまり)の数字を数字形象で包むんだ♪
下記は“106”という一組の数字を送信しているんだよ。



覚え方

濁点 は 白濁 (はくたく)
半濁点は 赤飯 (せきはん)

1 0 6	3 倍長めに 数字開始		1		0		6	3 倍長めに 数字終了		
形象										
原姿	数字	原姿	1 原画	原姿	0 原画	原姿	6 原画	原姿	数字	原姿
筆記の際の記号	△		1		0		6		△	

※上記は、数字原画法

数字の開始だよ～で、第13原画
数字の終了だよ～で、第13原画

この数字の開始と終了の合図は、第13原画を濁点形象の3倍長く、旗をあげておきます。
濁点と区別するためよ♪

分数の例 例えば、2分の1 の場合 △1／2△ となるよ♪ 数字形象 分子 帰除線 分母 数字形象の順よ♪

記号	数字	帰除線	句点	新章
形象				
筆記に使用	△	／	、	『



時刻は24時間で4桁表示
午後3時 5分なら、△1505△ジ
午前8時20分なら、△0820△ジ
単位など、忘れないでね♪

昔の手旗信号では、
“ウ”の形象で、⑤-②-⑨
というのがあったけど、
現在の“ウ”は、⑥-⑨ だけだよ♪

文字や数字の打ち方【続】

下記は“20”という一組の数字を送信しているよ♪
 大事な数字を送るときは、読み間違いを防ぐために、一組の数字の後、数字傍訓を送るよ♪
 数字傍訓は括弧(カッコ)で包むよ。数字傍訓があるときは、数字終了の数字形象はいらないよ♪



20(フレ)		3倍長めに 数字開始		2		0		数字の 傍訓開始		フ		レ		数字の 傍訓終了	
数字(傍訓) 形象															
	原姿	数字	原姿	2原画	原姿	0原画	原姿	カッコ	原姿	9原画	原姿	7原画	原姿	カッコ	原姿
筆記の際の記号		△		2		0		(		9		7		)	
※上記は、数字傍訓法															
数字傍訓法では、数字終了の数字形象は不要。															
数字を正確に送受信するための方法		数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			
		数字傍訓 (文字形象)	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ			
			①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦			



数字の“2”の数字傍訓は、文字形象の“フ”
 文字形象“フ”は第9原画で形象

数字の“0”の数字傍訓は、文字形象の“レ”
 文字形象“レ”は、第7原画で形象

第7条	数 字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓 (文字形象)	ヒ ①→⑦	フ ⑨	ミ ⑥→①	ヨ ⑧→⑥	イ ③→②	ム ⑦→⑤	ナ ①→③	ヤ ⑧→④	コ ⑧→①	レ ⑦

1. 6		3.倍長めに 数字開始		1		点		6		3.倍長めに 数字終了	
1点6 形象											
	原姿	数字	原姿	1原画	原姿	読点	原姿	6原画	原姿	数字	原姿
筆記の際の記号		△		1		。		6		△	
※上記は、数字原画法											
上記を数字傍訓法 で送信する(筆記の際の記号で書く)と △1.6 (ヒ.ム)となるよ。											

帰除線は、第11原画で形象するよ♪



3 $\frac{1}{6}$	3倍長めに 数字開始	3	と	1	/	6	3倍長めに 数字終了								
3と6分の1 形象															
	原姿	数字	原姿	3原画	原姿	読点	原姿	1原画	原姿	帰除線	原姿	6原画	原姿	数字	原姿
筆記の際の記号		△		3		。		1		/		6		△	
※上記は、数字原画法		上記を数字傍訓法 で送信する(筆記の際の記号で書く)と △3.1/6 (ミ.ヒ/ム) となるよ。													

第15条3	記号形象	数字	読点	帰除線	括弧	句点	小括弧	新章	問符	※問符形象は、現在、 日本船舶信号法では 使用されていない。
	筆記に使用	△	。	／	()	、	「 」	『 』	？	

ホ？ール	ホ			脱字等不明		一(長音)		ル				
脱字等不明												
形象												
	原姿	1 原画	2 原画	1 0 原画	原姿	問符	原姿	2 原画	原姿	3 原画	7 原画	原姿
筆記の際の記号		1	2	10		？		2		3	7	

I d o		欧文開始		I 濁点		3倍長めに 単語区切り		d ホ				o レ		欧文終了	
和文中の欧文 形象															
	原姿	小カッコ	原姿	1 3 原画	原姿	句点	原姿	1 原画	2 原画	1 0 原画	原姿	7 原画	原姿	小カッコ	原姿
筆記の際の記号		「		13		、		1	2	10		7		」	

英単語と英単語の間は、句点で区切ってね♪

句点は、第14原画で形象するよ♪
 半濁点の3倍の時間、旗をあげておきます。
 半濁点と区別するためよ♪

略語の使い方(交信区別形象)

ヤノハ	略語開始		ヤ		ノ		ハ		略語終了	
略語 形象										
原姿	略語	原姿	8原画	4原画	原姿	3原画	原姿	10原画	原姿	略語
※例 : あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略すこととしていた。										

班で、略語を考えてね♪



『通信ハイキング』 おまけ

＜ 風の心地よいある春の日 ＞



みんな 原画や文字の形象の仕方は覚えた？

班長 練習あきちゃったよ～



わたし どこか行きた～い♪

さんせ～い♪おやつ持って行こうよ🍎



あっはっは おやつがねらいか～
…隊長どう言うかな？

ふふふ
班長の思惑
どおりね♪

班長＜困蛇環池ヘショートハイキング＞
『非常時にそなえよ 手旗で交信』
なんてどう？実際にやってみるのが一番よ♪
おやつ もとい 非常食も食してみないと♪
(実はおやつ)



わ～♪さすが次長
わ

お～♪さすが次長
いや ナイスアイデアです

よし♪それで計画し
上級班長にアドバイスもらって
隊長から承認をもらおう♪



- ※ 安全対策をしっかり行うこと、危険な箇所には近づかないこと 隊のリーダーに必ず相談し、その指示に従うこと
- ※ 水辺での活動時は、注意が必要です。ロープや班旗などを万が一にそなえて用意しておこう。
- ※ 風でハットが飛ばされるから、野球帽などの活動帽にしておこう。物より命の方が大事だよ!!
- ※ マムシやマダニなどに注意、草むらに入らない。
- ※ 来た時よりも美しく、ごみ袋を用意しておこう。風で飛ばされないよう、袋をあけっぱなしにしない、くくりつけておくなど

交信の要素【指呼・信号文・送信】 簡略

第16条1・2	指呼と応信の仕方	● 指呼		応信	
		起信形象	連送	応信形象	連送

第2条	信号文の要素				
信号文の順序	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	本文
	必要のないものは、省略することができる				

※ 送信者・受信者は、交信を行う者。発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、送信者＝発信者、受信者＝着信者となる。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、本文のみとなる。
 ※ 中継の場合などは、発信者・着信者を省略してはならない。
 ※ 保護者から団委員長宛ての手紙をスカウトが預かり、隊長を通じて 団委員長へ
 例 送信者（スカウト） ハツ 保護者 アテ 団委員長 手紙 受信者（隊長）

第16条3	送信の基本要素				
起信 (始信)	● 信号文				終信
	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	
必要のないものは、省略することができる					

※下記ではすべて省略している。結果、本文のみとなっている。

指呼の起信

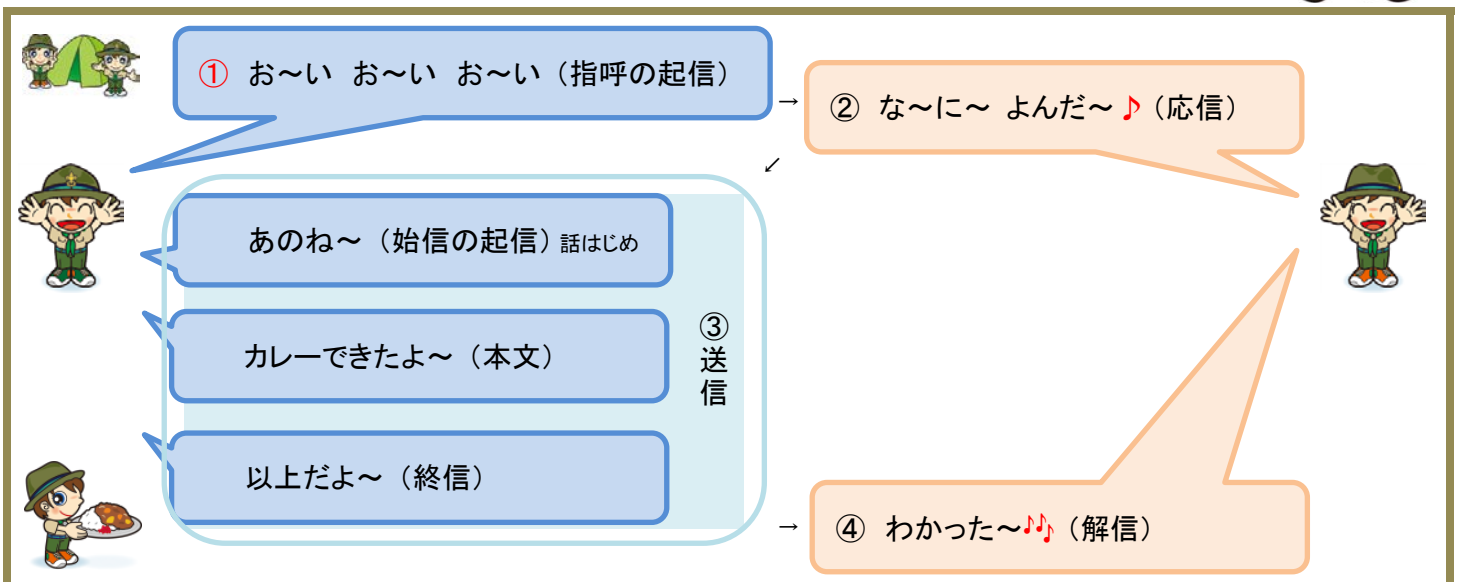
簡略	送信者		受信者	
交信の基本	1 指呼:	起信形象 受信者の応信があるまで連送 一呼吸置く	2 応信:	応信形象 送信者が指呼をやめるまで連送
	3 送信:	起信形象 (始信) 適当な回数 信号文 本文 終信形象 やや長くあげる	4 解信:	解信形象 信号文が解読できたら形象

※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信は、通常、上記の省略をして、簡略した内容で行う。その結果、信号文の内容は、本文のみとなる。

始信の起信

むずかしそうな話だけど、かんたんに まとめると おなか減って ペっこペこてことだよ♪

上記のまとめ



◎表中の“適当な回数”は1回でよい場合もあれば、数回必要な場合もある。回数の記載のない箇所でも、意図が伝わっていないなら、意図が伝わるよう繰り返すなどお互いの技量に応じ、分かりやすい交信を心がけよう♪

第16条1～4

交信の基本【指呼－応信・送信－解信】 簡略

送信者 甲 

受信者 乙 

送信側：信号文を読む役と手旗を振る役
50音覚えて慣れるまでは、送信側も受信側も2人一組(または3人一組)ですといいよ♪

起信 ①	指呼
応信あるまで	お～い 応答して～♪
一呼吸置き 起信(始信)から送信	
起信 ③	始信
適当な回数	これから信号文 送信開始だよ～♪
※ここで 発動 を用いることがあるよ♪↓	
信号文 ④	
～ 信号文 送信中 ～ 本文	
終信 ⑤	終信により送信終了
やや長く あげる	信号文の 送信終了だよ～♪
	無事解読できた みたいだ♪

受信側：手旗信号を読む役と筆記する役
そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪

応信 ②	そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪
起信 (指呼) やめるまで	は～い 何だ～い♪
赤旗・白旗 交互	
	これから 受信だ♪
	～ 信号文 受信中 ～ 本文
	解読確認中
解信 ⑥	
適当な回数	信号文を解読 できたよ～♪

①の起信は、『指呼(しこ)』の合図よ。 ※ 指呼とは、交信の相手と呼ぶこと
③の起信は、『始信(ししん)』の合図よ。 ※ 始信とは、信号文の送信を開始すること
起信形象は、二つ意味があるのよ♪

重要な信号文等、筆記を必要とする場合、指呼①・応信②の後、手続記号“カケ”・“ヨシ”を使う。
送信者からの“カケ”の信号に対して、受信者は、筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答する。
“カケ”・“ヨシ”は、『そなえよつねに』、スカウトなら 準備して②の応信をするよね♪
でも、大事な信号文の場合は、省略しないで、筆記の準備を互いに確認しよう!!

“一呼吸” これは、慌てないで落ち着いて交信しようという意味合いです。
適当に入れているので、こだわる必要はないよ♪

発動の例：▷送信者 起信(始信)③ - 発動 - 信号文④ - 終信⑤
始信(送信開始)の合図の起信に対しては、応信はいらないよ♪



消信 及び 再送 【送信者 一部取消】

送信者 甲



受信者 乙





送信者
一部取消

信号文
・

～ 信号文 送信中 ～

・

～ 信号文 受信 中 ～

消信
①

送信中、一部取消し訂正

適当な回数



あ！！間違えた！
今の箇所
取り消すよ～♪

・



ありや
間違えたかな♪

・

一呼吸置く

※ 送信者が消信①を止めない場合は、消信形象で応答してあげよう。

・ どうやら、一部取り消し訂正のようだ♪

信号文
②

～ 信号文 送信 ～

誤った箇所の数文字前から繰り返して送信

・

～ 信号文 受信 ～

※ 間違えた箇所の数文字前、区切りのよいところから送りなおそう♪

消信 及び 再送 【送信者 全部取消】

送信者 甲



受信者 乙





送信者
全部取消

信号文

.

～ 信号文 送信中 ～

.

～ 信号文 受信中 ～

消信 ①

送信中、全部取消し

適当な回数



ごめんね～♪

.



ありや
間違えたかな♪

終信 ②

受信者の
終信ある
まで



全部取り消し
ま～す♪

消信 ③

適当な回数



ガーン！！

.



交信終了だよ♪

終信 ④

送信者が
終信やめる
まで



全部取り消す
んだね～♪

※ 全部取り消しで、通常、交信終了となると思われます。

もし、改めて信号文の送信を行うつもりなら、始信からでもよさそうですが、何らかの事情があって時間が経過するなら、指呼からやり直すのが無難でしょう。

特に、信号文の内容が変更となるような場合は、注意喚起が必要です。

※ 交信相手を間違ったり、送信すべき信号文を取違えるなどは、失礼になります。このようなことが無いよう気を付けよう。

消信 及び 再送 【受信者 一部不明】

送信者 甲



受信者 乙

受信者
一部不明

信号文

.

～ 信号文 送信中(後) ～

.

ありや
不明あったかな♪

.



〇〇から...

.

〇〇から
消信のあったところ
までだね♪

解信

④

適当な回数

指定箇所了解だよ
送りなおすよ～♪

〇〇信号文

⑤

指定箇所から再送

解信ある
まで何度でも
繰り返し
再送するよ～♪

※ 〇〇と指定された箇所から、消信のあった箇所まで、繰り返し再送

.

よかった♪
不明箇所の
解読できたようだ♪

一呼吸置く

信号文

⑦

信号文の続きがある場合

～ 信号文 続きを送信 ～

～ 信号文 受信(後) ～

消信

①

受信(後)、一部不明

適当な回数

あ～！！今の箇所
分らなかった♪

〇〇カラ

②

指定箇所

〇〇 8 3 5 9
カ ラ不明箇所の数文字
前を指定
〇〇から

サラ

③

手続記号 サラ

1 12 5 9
サ ラ指定箇所から再送
を要求
おさらいして～♪

※ 送信者の解信④がなければ、受信者は“再送要求の手続き”を繰り返す。

.

指定箇所からの
再送の要求が
通じた♪

不明箇所の解読中

.

繰り返し再送
してくれている♪
解読確認中

解信

⑥

不明箇所の解読

再送やめる
まで不明だったところ
分かった～♪

※ 送信者が再送の途中でも、不明箇所が解読できたら、解信形象を送る。

.

～ 信号文 続きを受信 ～

※ 他に不明箇所があるか・ないか、信号文の終了か・続きがあるのか、互いに注視しながら、交信を行う。

※ 送信者は、終信後に一部不明の場合、⑥の解信では、信号文の一部解読が全部解読か判断し難い。改めて終信をし、解信を得るのが分かりやすいと思われる。

※ 受信者は、他に不明箇所がある場合、早めに消信①からの手続きを行うなどして、分かりやすい交信を心掛けよう。スカウトは親切であるからね♪

消信 及び 再送【受信者 全部不明】

送信者 甲



受信者 乙

受信者
全部不明

信号文

.

～ 信号文 送信中(後) ～

～ 信号文 受信(後) ～

.

ありや
不明あったかな♪

消信 受信(後)、全部不明

①

適当な回数

あ～！！さっぱり
分からない～♪

.



ぜ、全部ね…

サラ 手続記号 サラ

②

最初から再送要求
信号文の最初から
おさらいして～♪

※ 送信者の消信③がなければ、受信者は“再送要求の手続き”を繰り返す。

消信

③

適当な回数

分かったよ～♪
全部取り消して送りなおして
くれるかな…

.

一呼吸置き

起信

④

起信により信号文全部の再送開始

始信

適当な回数

最初から
送りなおすよ～♪最初からの
再送の要求が
通じた♪

信号文

⑤

～ 信号文 最初から再送 ～

～ 信号文 最初から再受信 ～

※ 送信者が信号文の全てを送信し終わった後、最初から再送を要求するのではなく、不明な場合は早めに再送を要求するようにしよう。

④の起信は、始信の合図だよ。
始信の合図に対しては、応信はいらないよ♪

スカウト間での交信で

不明により、受信者から再送を要求する場合

“黒やぎさん 白やぎさん”状態になりがちじゃの…

一部不明の場合は、送信者の解信④

全部不明の場合は、送信者の消信③

があるまで、“再送要求の手続き”を繰り返すしかないの～

※業務(仕事)で交信を行っている人たちは、このような必要はないだろう。



送信者 甲



受信者 乙



起信 ・	指呼	
応信ある まで		お～い 応答して～♪
一呼吸置き 起信(始信)から送信		
起信 ・	起信により送信開始 始信	
適当な回数		これから信号文 送信開始だよ～♪
ムニ ①	指定記号 ムニ	
	756 ム ニ	大事な信号文 あとで照校(確認) するよ♪
信号文 ②	～ 信号文 送信中 ～	
終信 ③	終信により送信終了	
やや長く あげる		信号文の 送信終了だよ～♪
・		“ムニ”受信 照校開始だ♪
・		返送の信号 照校中 誤り確認
・		あ！誤りあり！！ すぐに“イナ” を送ろう♪
イナ ⑥	手続記号 イナ	
適当な回数	3213 イ ナ	誤りあったよ～♪
訂正信号 ⑧	～ 訂正・送信中 ～ 受信者の誤った箇所を 正しい信号で再送	
・		返送の信号 照校中 誤りがなくなった
・		信号文の最後まで 誤りがなくなった♪
ヨシ ⑩	手続記号 ヨシ	
	8657 ヨ シ	信号文のすべて 正しいことが確認 できたよ～OK♪
・		大事な信号文 無事、交信完了♪

応信 ・	そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪	
起信(指呼) やめるまで		は～い 何だ～い♪
・		
・		これから 受信だ♪
・		“ムニ”受信 大事な信号文だ♪ あとで照校だ♪
・	～ 信号文 受信中 ～	
・		解読確認 解読できたら 照校だ♪
ムニ ④	指定記号 ムニ	
	756 ム ニ	受信した信号文 確認よろしく♪
信号文 ⑤	～ 受信した信号文 返送中 ～	
イナ ⑦	手続記号 イナ	
	3213 イ ナ	ありゃ～♪
・	～ 訂正・受信中 ～ 誤っていた箇所の訂正 正しい信号を受信中	
・		しっかり受信 しなくちゃ♪
信号文 ⑨	～ 訂正で受信した箇所から信号文 返送継続 ～	
⑪		ほっ♪ 誤りがなくなった♪
解信 ⑫	信号文の全文 これで正しく受信 できた♪	
適当な回数		

送信者 甲



中継者 丙



受信者 乙



中継依頼

送信者→中継者



甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪

起信 ① **指呼**

応信あるまで

お〜い♪

応信 ②

指呼やめるまで

なんだ〜♪

中継 ③ **起信形象の代り 始信**

適当な回数

中継だよ〜♪

・

お、中継だね♪

発宛 ④ **手続記号 ハツ・アテ**

ハ ツ 甲
ア テ 乙

甲 から 乙 さん宛てだよ♪

・

乙 さん宛ての中継だね♪

⑤ ~ 本文 送信中 ~

・ ~ 本文 受信 中 ~

終信 ⑥

やや長くあげる

これで信号文は終わりだよ〜♪

・

スカウトシンゴウ

解読確認中

・

無事解読できたみたいだよ♪

解信 ⑦

適当な回数

信号文を解読できたよ〜♪

中継法 2 【中継報告 中継その2】 2/3

送信者 甲



中継者 丙



受信者 乙



甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪

中継遂行

中継者→受信者

起信

①

指呼

応信あるまで



お〜い♪

応信

②

指呼やめるまで



なんだ〜♪

中継

③

起信形象の代り

始信

適当な回数



中継だよ〜♪

.



お、中継だね♪

発宛

④

手続記号 ハツ・アテ

ハ

ツ

甲

ア

テ

乙

甲さんから乙さん宛だよ♪

.



甲さんからの中継だね♪

⑤

～ 本文 送信中 ～

.

～ 本文 受信 中 ～

終信

⑥

やや長くあげる



これで信号文は終わりだよ〜♪

.

スカウトシンゴウ

解読確認中

解信

⑦

適当な回数



信号文を解読できたよ〜♪

送信者 甲



中継者 丙



受信者 乙



送信者←中継者

中継報告

甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪



起信

①

指呼

応信あるまで



お〜い♪

お、丙さんからだ♪

応信

②

指呼やめるまで



なんだ〜♪

甲さんの応答あった♪

送信

③

中継完了報告

解信は適当な回数



乙

乙さん受信解信した報告だよ〜♪

※ 解信形象に続いて受信者名を形象

乙さんが受信解信したんだね♪

解信

④

適当な回数



中継の報告を了解♪

無事に中継でき、報告もできた♪

中継のお礼

⑤



イ ヤ サ カ

弥栄(イヤサカ)♪

お役にたててよかった♪

※ スカウトは礼儀正しいのであるから、④の解信の後、⑤で弥栄 と感謝の気持ちを表したよ♪

※ ④の解信の後、⑤でアリガトウ などでもいいよ♪

長文の送信【句点】

送信者 甲



受信者 乙



※ 句点形象の用い方について、日本船舶信号法の記号形象表に“各符号、語句等の間に用い、その区切を表わす。”とある。これとは別に交信法のなかに記載があり、長文の区切りとして句点形象を用いる場合は、受信者からの解信があるまでは、原姿に復さない(戻らない)となっている。

信号文 ・ ～ 信号文 送信中 ～	→	・ ～ 信号文 受信中 ～
・  信号文長いから切りのよいところで区切ろう♪	→	・  信号文、長いな・・・
句点 ① 長文の区切り 受信者の解信あるまで  形象やめないのは特別な区切りだよ 解読応答してね♪	→	・  句点をやめない・・・長文の区切りだ 解読して要応答だ！ 解読確認中
・  区切りまで無事解読できたみたいだ♪	←	解信 ② 送信者が句点やめるまで  信号の区切りまで解読できたよ～♪
・ 一呼吸置き		・
信号文 ③ ～ 信号文 続きを送信 ～	→	・ ～ 信号文 続きを受信 ～
終信 ④ 終信により送信終了 やや長くあげる  全信号文の送信終了だよ～♪	→	・  解読確認中
・  無事解読できたみたいだ♪	←	解信 ⑤ 適当な回数  全信号文を解読できたよ～♪

※ 信号文を数句に分けるその回数は、特に決まりがあるわけではない。区切りやすく、送信・受信しやすい回数でよい。

句点形象の用法について

第14原画	普通に形象した場合	3倍長くあげた場合	...	応答あるまであげた場合
	文字形象	記号形象		交信区別的な用法
	半濁点	句点		解読と応答を要求する区切り

※ 長文ではない短い語句の区切りなどの場合(解読・応答を必要としない場合)は、3倍長くあげたら原姿に戻る。
※ その他、記号形象としての句点形象は、送信者が信号を一時中止する際にも用いる。

例: キウイ 句点形象 ミカン 句点形象 クリ
例: 句点形象 マテ “中止及び再開”参照

二以上の信号文の送信【新章】

送信者 甲



受信者 乙



※ 新章形象の用い方について、現在の日本船舶信号法には、記号形象表に“二つ以上の信号文を送信する場合 信号文の間に用い、その区切を表わす。”と記載があるだけです。“句点による長文の区切り”のような交信法の記載がありません。以下は、以前に行われていた交信法の例です。

信号文1 ・ ～ 信号文1 送信中 ～	→	・ ～ 信号文1 受信 中 ～
↓ ・  最初の信号文 終わったぞ♪	→	・  終りかな・・・
↓ 新章 ① 受信者の新章あるまで  形象やめないのは特別な区切りだよ 解読 応答してね♪	→	・  新章をやめない・・・ 最初の信号文 解読して要 応答だ！ 解読 確認 中
↓ ・  最初の信号文 無事 解読 できた みたいだ♪	←	新章 ② 送信者が新章やめるまで  最初の信号文 解読 できたよ～♪ 次の信号文 どうぞ♪
↓ ・ 一呼吸置き		※ 受信者は、信号文を解読した場合、解信形象の代りに新章形象をする。 ・
↓ 信号文2 ③ ～ 信号文2 送信 ～	→	・ ～ 信号文2 受信 ～
↓ 終信 ④ やや長くあげる  全信号文の 送信 終了だよ～♪	→	・  解読 確認 中
↓ ・  無事 解読 できた みたいだ♪	←	解信 ⑤ 適当な回数  全信号文を 解読 できたよ～♪

※ 送信する信号文のその数は、特に決まりがあるわけではない。信号文の数に応じて新章形象で区切ればよい。

新章形象の用法について

第7原画	普通に形象した場合	やや長くあげた場合	…	応答あるまであげた場合 交信区別的な用法
	文字形象	記号形象		
	レ	新章		解読と応答を 要求する区切り

※ 各信号文が短く、誤認誤解の生じるおそれがない場合（解読・応答を必要としない場合）等は、やや長くあげたら原姿に戻って、次の信号文を続けてもよさそうですが…。他に通達や慣習などによる交信法についての決まりごとがあるのかもしれない。要研究です。

応答あるまで、
『腕を上げ続けるのが大変』じゃと！
送信者も受信者もスカウトとして、
どうあるべきか、よく考えるのじゃ！
待つこと マテもらうこと
互いに相手のことを考えれば、知恵と根性が湧いてくるじゃろう♪



中止 及び 再開【送信者 中止・再開】

送信者 甲

受信者 乙

送信者 一時中止

信号文
・
～ 信号文 送信中 ～

↓

句点
①
一時中止
3倍長く
あげる

ごめんね～♪

↓

マテ
②
手続記号 マテ
適切な回数

マ テ
ちょっと
待っててね～♪

↓

・

一時中止を
了解してくれた♪

↓

・
送信一時中止

・
～ 信号文 受信 中 ～

→

・

ん！！
なんだろう♪

→

・

“マテ”だから
一時中止だ♪

↓

解信
③
適切な回数
(送信者がマテ
やめるまで)

一時中止
了解です♪

←

・
再開の指呼まで注視して待機

送信者 再開

・
送信一時中止中

↓

起信
①
再開
指呼
応信ある
まで

お～い再開だよ～
応答して～♪

↓

・
一呼吸置き

↓

信号文
③
～ 信号文 送信再開 ～
中止した箇所の数文字前から送信再開

・
再開の指呼まで注視して待機中

→

応信
②
起信
(指呼)
やめるまで

は～い
再開だね～♪

←

・

→

・
～ 信号文 受信再開 ～

※ 中止した箇所の数文字前、区切りのよいところから再開して送ろう♪

中止 及び 再開【受信者 中止・再開】

送信者 甲



受信者 乙

受信者
中止要求

信号文

・

～ 信号文 送信中 ～

・

～ 信号文 受信中 ～

・

ん！！
なんだろう♪消信
①

中止要求

適当な回数



ごめんね～♪

・

“マテ”だから
中止要求だ♪マテ
②

手続記号 マテ

適当な回数

ちょっと
待って～♪

送信一時中止

・

再開要求まで注視して待機

・

受信中止

・

再開要求まで注視して待機中

・

お！！
再開だね♪応信
①

再開要求

適当な回数

お～い
再開して～♪

・

一呼吸置き

信号文

②

～ 信号文 送信再開 ～

中止した箇所の数文字前から送信再開

・

～ 信号文 受信再開 ～

※ 中止した箇所の数文字前、区切りのよいところから再開して送ろう♪

< ある暑い夏の日 >



それ〜♪



ハンテウワ …
ハンテウワ …

うわ!!わ、わわ…
冷たいよ〜♪

な〜んだ 大丈夫そうね。
ボーイのお兄ちゃんが踊りながら
訳の分からないこと言ってるっていうから
水ぶっかけてって言っただのよ♪
ところで、どうしたの？



古い資料に『信号カナづかい』という
のが書いてあって、それによると…
手旗やモールスの通信では、
「班長は」は、「ハンテウワ」と送信する
らしいんだ。



なかなか熱心な 感心感心
必ずしも 信号カナづかいじゃなくてもよい。
誤受のないようにすることが肝心だ…
ワッハッハッハ



なあ〜んだ。スカウト同士の通信は、
学校で習っている「カナづかい」でいいんだ。
ありがとうございます。
…って、今のおじさんの声は？
誰？？どこから…？？？

交信区別形象

起信 	応信
中継 	消信
終信 	解信
発動 	略語

記号形象

数字 	読点
帰除線 	括弧
句点 	小括弧
新章 	問符

その他

指定記号	指定の種類	意味
ウ ナ	至急	急いで伝達
ム ニ	照校	返送し確認

手続記号	用途	用例 抜粋
サ ラ	再送要求	〇〇カラ サラ
ハ ツ	発信者 前置	ハツ 発信者名
ア テ	着信者 前置	アテ 着信者名
カ ケ	筆記	筆記
ヨ シ	肯定	筆記 ・ 照校
イ ナ	否定	照校
マ テ	一時中止	句(消) マテ
ツ コ	通信困難	ツコ マテ
タ ナ	発信番号 前置	タナ 発信番号

数	1	2	3	4	5
傍	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ
形	①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②

数	6	7	8	9	0
傍	ム	ナ	ヤ	コ	レ
形	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦

文字形象(ABC順) 早見表

A行			
A	イ	3	- 2
B	ハ	10	
C	ニ	6	
D	ホ	1	- 2 - 10
E	ヘ	4	
F	チ	7	- ②
G	リ	12	

H行			
H	ヌ	9	- 4
I	濁点	13	
J	ヲ	1	- 9
K	ワ	2	- 9
L	カ	8	- 3
M	ヨ	8	- 6
N	タ	11	- 5

O行			
O	レ	7	
P	ツ	12	- 3
Q(予)	ネ	9	- 2 - 1
R	ナ	1	- 3
S	ラ	5	- 9
T	ム	7	- 5
U	ウ	6	- 9

V行			
V	ク	11	
W	ヤ	8	- 4
X	マ	9	- 5
Y	ケ	7	- 3
Z	フ	9	-

小括弧「」
和文中に欧文を含む場合にその前後に附する。

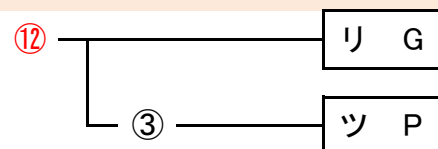
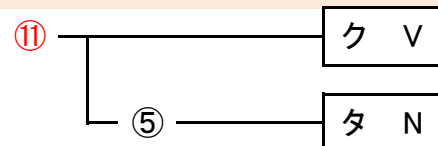
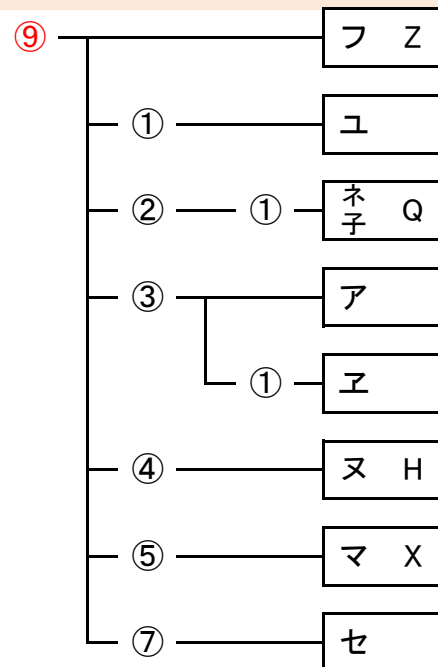
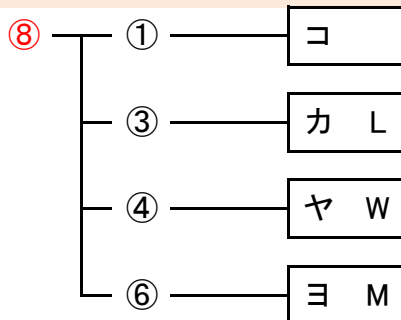
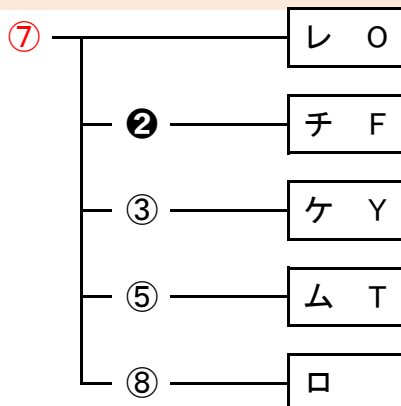
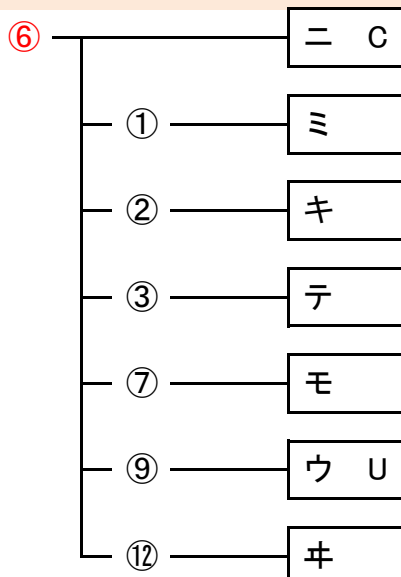
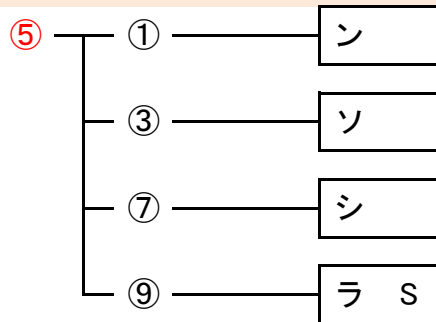
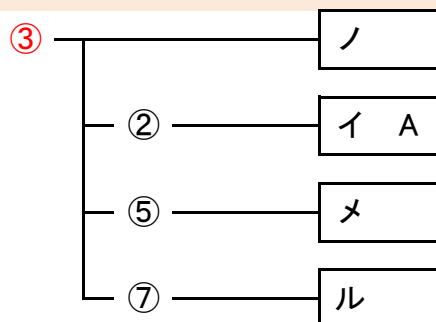
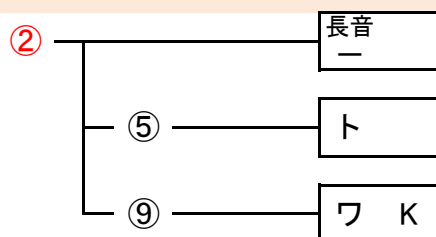
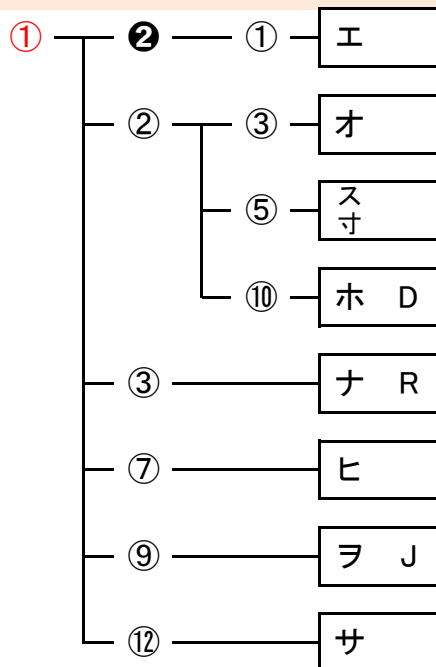
手旗は、日本独自の旗による信号法だ。
手旗のアルファベットは日本独自だから、
外国の人との交信には使わないぞなワシ♪



アルファベットの順番は、だいたいイロハ順なのよね・・・
ソ ロ オ ノ キ ル ト ` I ... が、問題なのよ♪

注： ② ... 逆(白)2原画

文字形象(原画順) 早見表



早見表で調べればいいさ♪
でも覚えてしまうと もっと
楽しいだろうなあ〜 ウキウキ♪



上段: 数字			中段: 数字傍訓			下段: 数字傍訓の文字形象				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ	
①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦	

英 字 素	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
ア行	ハ行	ナ行	ハ行	ハ行	タ行	ラ行	ナ行	濁点	ワ行	ワ行	カ行	ヤ行	タ行	
イ	ハ	ニ	ホ	ヘ	チ	リ	ヌ	゛	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ	

英 字 素	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
ラ行	タ行	ナ行	ナ行	ラ行	マ行	ア行	カ行	ヤ行	マ行	カ行	ハ行	
レ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	ク	ヤ	マ	ケ	フ	

カナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
1動	⑨	③	⑥	①	①	⑧	⑥	⑪	⑦	⑧	①	⑤	①	⑨	⑤	⑪	⑦	⑫	⑥	②

カナ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ
1動	①	⑥	⑨	⑨	③	⑩	①	⑨	④	①	⑨	⑥	⑦	③	⑥	⑧		⑨		⑧

カナ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ウ	エ	ヲ	ン	濁	半	長
1動	⑤	⑫	③	⑦	⑦	②	⑥		⑨	①	⑤	⑬	⑭	②

注: ② ... 逆(白)2原画

文字形象(50音順) 早見表

ア行			カ行			サ行		
ア	9	- 3	カ L	8	- 3	サ	1	- 12
イ A	3	- 2	キ	6	- 2	シ	5	- 7
ウ U	6	- 9	ク V	11		ス (寸)	1	- 2 - 5
エ	1	- ② - 1	ケ Y	7	- 3	セ	9	- 7
オ	1	- 2 - 3	コ	8	- 1	ソ	5	- 3
タ行			ナ行			ハ行		
タ N	11	- 5	ナ R	1	- 3	ハ B	10	
チ F	7	- ②	ニ C	6		ヒ	1	- 7
ツ P	12	- 3	ヌ H	9	- 4	フ Z	9	
テ	6	- 3	ネ(子)Q	9	- 2 - 1	ヘ E	4	
ト	2	- 5	ノ	3		ホ D	1	- 2 - 10
マ行			ヤ行			ラ行		
マ X	9	- 5	ヤ W	8	- 4	ラ S	5	- 9
ミ	6	- 1	イ A			リ G	12	
ム T	7	- 5	ユ	9	- 1	ル	3	- 7
メ	3	- 5	エ			レ O	7	
モ	6	- 7	ヨ M	8	- 6	ロ	7	- 8
ワ行						色は匂へど 散りぬるを イロハニホヘト チリヌルヲ		
ワ K	2	- 9	ン	5	- 1	我が世誰そ 常ならむ ワカヨタレソ ツネナラム		
ヰ	6	- 12	濁点 I	13		有為の奥山 今日越えて ウキノオクヤマ ケフコエテ		
ウ U			半濁点	14		浅き夢見じ 酔ひもせず ん アサキユメミシ エヒモセス ン		
ヱ	9	- 3 - 1	長音	2		濁 点は、白濁(はくたく)13原画 半濁点は、赤飯(せきはん)14原画 と、覚えるといいよ♪		
ヲ J	1	- 9						

英 字 素	A	B	C	D	E	F	G
	ア行	ハ行	ナ行	ハ行	ハ行	タ行	ラ行
	イ	ハ	ニ	ホ	ヘ	チ	リ
英 字 素	O	P	Q	R	S	T	U
	ラ行	タ行	ナ行	ナ行	ラ行	マ行	ア行
	レ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ
	V	W	X	Y	Z		
	カ行	ヤ行	マ行	カ行	ハ行		
	ク	ヤ	マ	ケ	フ		

数	1	2	3	4	5
傍	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ
形	①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②
数	6	7	8	9	0
傍	ム	ナ	ヤ	コ	レ
形	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦



『帰ってきたVS』 おまけのおまけ

加除ページ



あ！風だ!!

班長！ 吹いたわね!!



ベンチャーの先輩
帰ってきたに違いない!!

きっと そうよ 敬礼の準備よ♪

こんにちは♪

よ♪ひさしぶり



実は、面白いこと思いついたんだ♪



お！君は新入隊員か？

はい！こんにちは



いい返事だな♪…(――)



<ひそひそ>
よく分からないまま敬礼したけど…誰？

<ひそひそ>
“班長や次長”の班長だった人よ♪
ベンチャーになってから
休みの日ごとに山にこもってて、
滅多に来ないから…



<ひそひそ>
あ～、班長が前に言ってた…
随分 鍛えてもらったって…

ははは…♪
みなまで言わなくて結構です。
ところで、面白いことって…

誰かさんとおんなじ

え ええ…♪
そ、そうですね…

誰かさんとおんなじ

そうそう これだ これ♪
指で原画
な♪面白いだろ♪



<ひそひそ>
面白いこと考える先輩だね。
やっぱり、間違いなく“班長や次長”の班長だね♪

<ひそひそ>
ふふ 確かにそうね♪



両手でグーは原姿			右手				
			指1本 人差し指	指2本 +中指	指3本 +薬指	指4本 +小指	指5本 +親指
左手	指1本	人差し指	1原画	2原画	3原画	4原画	5原画
	指2本	+中指	6原画	7原画	8原画	9原画	10原画
	指3本	+薬指	11原画	12原画	13原画	14原画	0原画

原画は、指を順々に増やして表わすんだ♪

左手だけでグーパーを繰り返すのは起信と応信、両手だと終信と解信
左手だけ五指を広げてヒラヒラさせたら一部消信、両手だと全部消信
数字の前後には、左手の親指と人差し指で、やや長くとめるんだ。

交信の要素【指呼・信号文・送信】 詳細

第16条1・2	指呼と応信の仕方	指呼	応信
交信相手を明確にする必要がない場合	起信形象	連送	応信形象 連送
交信相手を明確にする必要がある場合	起信形象 受信者名	連送	送信者名 応信形象 連送

← スカウトがゲーム等で行う場合、通常、こちら

← モールスの指呼は、受信者名 のみ

重要文等で筆記を要するとき	カケ	連送	ヨシ
---------------	----	----	----

第2条	信号文の要素			
信号文の順序	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号
	ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙	タナ △12△
	必要のないものは、省略することができる			

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

※ 送信者・受信者は、交信を行う者。発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、送信者＝発信者、受信者＝着信者 となる。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、本文のみ となる。
 ※ 中継の場合などは、発信者・着信者を省略してはならない。
 ※ 保護者から団委員長宛ての手紙を スカウトが預かり、隊長を通じて 団委員長へ

例	送信者（スカウト）	ハツ 保護者 アテ 団委員長 手紙	受信者（隊長）
---	-----------	-------------------	---------

第16条3	送信の基本要素			
	起信 発動 (始信)	信号文		
		指定記号	発信者名	着信者名
		ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

指呼の起信

簡略	送信者			受信者		
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで連送	2	応信: 応信形象
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記: ヨシ
	一呼吸置く					
	5	送信:	起信形象 発動形象	(始信) 適当な回数 送信の開始を明確にするため		
			信号文 終信形象	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文 やや長くあげる	6	解信: 解信形象

※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信は、通常、上記の省略をして、簡略した内容で行う。 その結果、信号文の内容は、本文のみとなる。



送信合図の起信の前に、一呼吸置くのがよいの♪
 “適当な回数”は、1回でよい場合もあるし、数回必要な場合もある。
 互いの技量に応じて行うのじゃ。

始信の起信

第3条	指定記号	指定の種類	用途
	ウ ナ	至急	伝達に急を要する信号であることを表わす場合 に用いる。
	ム ニ	照校	照校を要する信号であることを表わす場合 に用いる。

第6条	手続記号	用途	
	サ ラ	信号を再送させる場合 に用いる。	消信形象 サラ 消信形象 ○○カラサラ
	ハ ツ	発信者名の前 に附する。	ハツ 発信者名
	ア テ	着信者名の前 に附する。	アテ 着信者名
	カ ケ	筆記させる場合 に用いる。	
	ヨ シ	肯定を表わす場合 に用いる。	
	イ ナ	否定を表わす場合 に用いる。	
	マ テ	信号を一時中止する場合 又は 一時中止させる場合 に用いる。	句点形象 マテ 消信形象 マテ
	ツ コ	通信困難であることを表わす場合 に用いる。	ツコ マテ ○○ノタメ ツコ
	タ ナ	発信番号を表わす数字の前 に附する。	タナ 発信番号

交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】 詳細

送信者 甲



受信者 乙



起信 ①		指呼
応信あるまで		お～い 応答して～♪

カケ ③	手続記号 カケ	
適当な回数		筆記の準備 をしてね～♪

・ 一呼吸置き 起信(始信)から送信

起信 ⑤	起信により送信開始	始信
適当な回数		お、準備OKだ！ これから信号文 送信開始だよ～♪

発動 ⑥		用意 はじめ
第14原画をやや長めに用意、さっとおろし発動		

信号文 ⑦	～ 信号文 送信中 ～	
	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文	

終信 ⑧	終信により送信終了	
やや長くあげる		信号文の 送信終了だよ～♪

		無事解読できた みたいだ♪
--	--	------------------

応信 ②		起信 (指呼) やめるまで
		は～い 何だ～い♪

赤旗・白旗 交互

ヨシ ④	手続記号 ヨシ	
		筆記の準備 できたよ～♪

		これから 受信だ♪
--	--	--------------

		発動のあと 信号開始だ♪
--	--	-----------------

	～ 信号文 受信 中 ～	
	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文	

		解読確認中
--	--	-------

解信 ⑨		適当な回数
		信号文を解読 できたよ～♪

※ 交信相手を間違ったり、送信すべき信号文を取違えるなどは、失礼になります。このようなことが無いよう気を付けよう。
大事な相手や信号文の送信等の場合は、発信者名・着信者名、指呼する相手(受信者)等をよく確認すること



“一呼吸” これは、慌てないで落ち着いて交信しようという意味合いです。
要所要所で心身を整えよう♪ 記載している箇所以外でも、同じだよ♪

◎表中の“適当な回数”は1回でよい場合もあれば、数回必要な場合もある。回数の記載のない箇所でも、意図が伝わっていないなら、意図が伝わるよう繰り返す。

指呼 - 応信・送信 - 解信

第16条1～5	送信者				受信者					
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象		2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数		4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたら“ヨシ”と応答	
	一呼吸置く									
	5	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数						
			発動形象							
			信号文	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文 ウナ ハツ 甲 アテ 乙 タナ12 本文						
			終信形象	やや長くあげる						
6	解信:	解信形象	信号文が解読できたら形象							

※ 3と4の筆記は、長文や重要文等の筆記をさせる必要がある場合の手続き。スカウトは、いつもそなえができていよう。筆記の必要がない場合は省略できる。

※ 5の発動形象は、送信の開始を明確にするために用いる。必要がなければ省略できる。 ※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

※ 5の信号文のうち、指定記号・発信者名・着信者名・発信番号については、必要ないものは省略できる。スカウトのゲーム等での交信の場合、通常は本文のみとなる。

簡略	送信者				受信者					
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象		2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	一呼吸置く									
	3	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数						
			信号文	本文						
			終信形象	やや長くあげる		4	解信:	解信形象	信号文が解読できたら形象	

※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信は、通常、上記の通り、簡略した方法で行う。

消信 及び 再送

第16条8-イ	送信者			受信者		
消信 一部取消	・	送信:	信号文	送信中		
	1	消信:	消信形象	誤字、脱字等を生じたとき		
	2	送信:	信号文	誤った箇所の数文字前から繰り返して送信		

第16条8-ロ	送信者			受信者		
消信 全部取消	・	送信:	信号文	送信中		
	1	消信:	消信形象	信号全部を取り消そうとするとき		
			終信形象	受信者の終信形象あるまで終信を形象		
	2	応答:	消信形象 終信形象	全部取消の信号に対して 同一形象で応答		

※ 信号の全部を取り消した後について、①全部取り消し、交信をそのまま終了する場合、②全部取り消し、改めて交信を行う場合 の二通り考えられる。

※ 通常は、①で全文を取り消して、交信そのものを終了と考えられる(信号文の送信が必要なら、消信 一部取消 で対応可であるので)。

②の場合は状況に応じ 交信の基本の 指呼 または 始信 からと思われる。

しかし、そもそも全部取消しの必要がある場合は、特別な場合であろうから、改めて、指呼から行うのが無難と思われる。

※ スカウトがゲーム等で行う場合、全部取り消しの後、改めて信号文の送信を行うなら、指呼からが分かりやすいだろう。

注: 日本船舶信号法のモルスの起信と終信の符号は、同じ符号なので、最初から再送のつもりで、“消信一起信”とすると、全部取消の“消信→終信”と誤認させてしまう。

第16条8-ハ	送信者			受信者		
再送 全部不明 受信者から 全部不明の 再送を要求	・	送信:	信号文	送信中又は送信後		
	1	要求:	消信形象 サラ	信号全部 最初から再送を要求するとき		
	2	消信:	消信形象	最初から再送の要求に対して 消信		
	3	再送:	起信形象 信号文	(始信) 適当な回数 信号文の全部を最初から再送		

第16条8-ニ	送信者			受信者		
再送 一部不明 受信者から 一部不明の 再送を要求	・	送信:	信号文	送信中又は送信後		
	1	要求:	消信形象 〇〇 カラ サラ	送信中 不明の箇所を生じ 不明箇所の数文字前を“〇〇 カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求するとき		
	2	解信:	解信形象	再送の要求の信号が解読できたら形象		
	3	再送:	〇〇信号文	指定箇所から 解信があるまで繰り返し再送		
	4	解信:	解信形象	不明箇所解読できたら、途中でも解信形象		
	5	送信:	信号文	再送を止め、信号文の続きを送信		

※ 3の再送は、指定箇所から、(受信者の消信形象により) 送信者が送信を止めたところまで、繰り返す。

※ 取消や中止の後、再送や再開時は、取消や中止した箇所の数文字前、分かりやすい、切りのよいところから、送信するようにしよう。

スカウトは親切であるからね。



照 校

第16条9		送信者				受信者				
照校	・ 指呼:		起信形象	受信者の応信があるまで形象		・ 応信:		応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	・ 筆記:		カケ	筆記が必要な場合、適当な回数		・ 筆記:		ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答	
	一呼吸置く									
	・ 送信:		起信形象	(始信) 適当な回数		・ 照校を要する信号(指定記号“ムニ”のある信号文)を受信したとき				
			信号文	照校を要する信号を送るとき形象						
			本文							
			終信形象	やや長くあげる		・ 解読出来たら、照校の手続き				
						1	送信:	ムニ	解信形象を送らず“ムニ”と送信	
				返送の信号を受信中		←	返送:	信号文	受信した信号文を返送	
		返送の信号文を照校中、誤りを認めたとき		→	イナ	“イナ”と応答				
	イナ	適当な回数送信し、受信者からの応答の後		訂正された正しい信号を受信						
	信号文	受信者の誤った箇所を正しい信号で再送		←	信号文	誤った箇所を訂正し、訂正箇所から返送を継続				
		返送の信号を受信中		→	イナ	“イナ”と応答				
		返送の信号文を照校中、誤りを認めたとき		←	信号文	誤った箇所を訂正し、訂正箇所から返送を継続				
2 照校:		イナ	適当な回数送信し、受信者からの応答の後		→	訂正された正しい信号を受信				
		信号文	受信者の誤った箇所を正しい信号で再送		←	信号文	誤った箇所を訂正し、訂正箇所から返送を継続			
			返送の信号を受信中		3	解信:	解信形象	解信形象を送って照校を終わる		
		ヨシ	受信者の正しい返送が終了したので“ヨシ”と送信							



電話連絡の際、
復唱して確認するのと同じね♪

数字の送信

第16条11	数字の送信	零原画から第九原画までの中、当該数字に相当する番号の原画形象をもって表わす						
		整数	小数	読点	分数	帰除線	帯分数	読点 帰除線
(1)	数字原画	△100△ エン	△3.5△		△1/2△		△3.1/2△	
(2)	数字傍訓あり	△100(ヒレレ) エン	△3.5(ミ.イ)		△1/2(ヒ/フ)		△3.1/2(ミ.ヒ/フ)	
(3)	発音通り	ヒヤク エン	サン テンゴ		ニ ブンノ イチ		サントニ ブンノ イチ	
その他	時刻は24時間の4桁で表す。	日付等の“日”は、“ヒ”と表す。例: 曜日 ヨウヒ、2月21日 △2△ガツ△21△ヒ						

※ 例: 午後3時5分なら、△1505△ジ 午前8時20分なら、△0820△ジ ※ 単位などを付け忘れると、何の数字が分からないよ♪

数字傍訓

第7条	数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓 (文字形象)	ヒ ①→⑦	フ ⑨	ミ ⑥→①	ヨ ⑧→⑥	イ ③→②	ム ⑦→⑤	ナ ①→③	ヤ ⑧→④	コ ⑧→①	レ ⑦

※ 数字傍訓は、各数字に対応した文字形象で、一組の数字の後、括弧()で包んで用いる。 例: 100円 △100(ヒレレ)エン

参考	数字の読み方	ヒト	フタ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ ヤア	キュウ ココノツ	マル ゼロ
	※ 風などで聞き取りづらいときの数字の読み上げ方の例	※ “2”を“ニ”と読むこともあるようです。									

記号の筆記

第15条3	記号形象	数字	読点	帰除線	括弧	句点	小括弧	新章	問符	※問符形象は、現在、 日本船舶信号法では 使用されていない。
	筆記に使用	△	。	/	()	、	「 」	『 』	?	

欧文の送信

第16条10	欧文の送信	信号文中に固有名詞、信号符字等アルファベットを含む場合 「固有名詞」「信号符字」 小括弧で包む			
小括弧で包む		「イ」△4△サイズ	「イ△4△」サイズ	「イ」△4(ヨ)サイズ	「イ△4(ヨ)」サイズ
発音通り		エー ヨン サイズ			
句点で区切る		欧文の単語と単語の間を区切る例: It is a piece of cake 「ム、ラ、イ、ツ」ヘニヘ、レチ、ニイワヘ」			

※ 欧文の送信に際して、受信者が誤解しないよう、判別し易いようにする。信号文を作成するとき、誤解されないかよく確認する。



中継法

- ・送信者・受信者は、交信を行う者。
- ・発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。

- ・ここでは、発信者＝送信者、着信者＝受信者 としている。
- ・異なる場合は、ハツ 発信者名 アテ 着信者名 とする。

第17条1	送信者 甲（発信者）		中継者 丙		受信者 乙（着信者）	
中継法 1	1 指呼：起信形象 乙 連送		→ 甲の指呼信号を乙が視認し難い ×		・ 不通：応答なし	
			丙が中継を買って出る			
	・ 丙からの中継の申出を受信		← 2 応答：中継形象 乙			
	3 送信：	中継形象	(始信)起信の代り			
		信号	ハツ 甲			
		文	アテ 乙			
		本文				
		終信形象	→ 4 解信：解信形象			
			5 指呼：起信形象 乙 連送		→ 6 応信：応信形象	
	7 送信：	中継形象	(始信)起信の代り			
		信号	ハツ 甲			
		文	アテ 乙			
	本文					
	終信形象	→ 8 解信：解信形象				
中継報告	・		← 9 指呼：起信形象 甲 連送			
	10 応信：	応信形象	→ ・			
	・		← 11 送信：解信形象 乙			
	12 解信：	解信形象 弥栄	礼儀	→ ・ 中継を終わる		

誰から 誰に 宛てた手紙なのか
…ぬか喜びさせられたりして…
ちゃんしないと迷惑なのよね！

誰から 誰に 宛てた手紙なのか
...ぬか喜びさせられたりして...
ちゃんとしないと迷惑なのよね!

※ 中継を買って出の場合の応答 中継法1 2 応答: 中継符 乙 又は 2 応答: 甲 中継符 乙



※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信なら、下記の中継法2が分かりやすいだろう。

第17条2		送信者 甲 (発信者)	中継者 丙	受信者 乙 (着信者)
中継法 2	中継依頼	丙に中継を依頼する		
		1 指呼: 起信形象 丙 連送	2 応信: 応信形象	
		3 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 終信形象		
			4 解信: 解信形象	
	中継遂行		5 指呼: 起信形象 乙 連送	6 応信: 応信形象
			7 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 終信形象	
				8 解信: 解信形象
	中継報告	10 応信: 応信形象	9 指呼: 起信形象 甲 連送	
			11 解信: 解信形象 乙	
		12 解信: 解信形象 弥栄 礼儀	→ 中継を終わる	

※ 11の“解信形象 乙”は、乙が無事に受信し、解信したことを意味する。発信番号がある場合の一例: “解信形象 タナ △12△ 乙”

※ 12の解信の際、スカウトは礼儀正しいのであるから、お礼を送る。“解信形象 イヤサカ” “解信形象 アリガトウ” など

※ 中継では、信号文の発信者名・着信者名を省略してはならない。指定記号と発信番号は必要なければ省略できる。

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

信号文の要素				本文
指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	
ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙	タナ △12△	
必要のないものは、省略することができるが...				
☆中継では発信者名・着信者名は省略できない。				



長文の送信【句点】（参考 ニ以上の信号文の送信）

第16条6		送信者			受信者				
句 点	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたら“ヨシ”と応答	
	一呼吸置く								
長文の送信 (信号文を数句に分ける)	5	送信:	信号文	起信形象	(始信) 適当な回数				
					適当と認めるところまで送信				
			句点形象	受信者の解信があるまで形象し、区切る	→	解信:	解信形象	区切りまで信号文が解読できたら形象	
			信号文		次の句(信号文の続き)を送信				
				句点形象	受信者の解信があるまで形象し、区切る	→	解信:	解信形象	区切りまで信号文が解読できたら形象
						最後の句(信号文の続き)を送信			
		終信形象	やや長くあげる			6	解信:	解信形象	信号文の全てが解読できたら形象

※ 信号文を数句に分けるその回数は、特に決まりがあるわけではない。区切りやすく、送信・受信しやすい回数でよい。

参 考		送信者			受信者			
新 章	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたら“ヨシ”と応答
	一呼吸置く							
二以上の 信号文の送信	5	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数				
			信号文1	最初の信号文1を送信				
			新章形象	受信者の新章形象があるまで形象し、区切る	→	解信:	新章形象	信号文1が解読できたら形象
			信号文2	次の信号文2を送信				
			新章形象	受信者の新章形象があるまで形象し、区切る	→	解信:	新章形象	信号文2が解読できたら形象
			信号文3	最後の信号文3を送信				
			終信形象	やや長くあげる	6	解信:	解信形象	信号文3が解読できたら形象

※ 受信者は、区切りまで解読できたなら、解信形象の代わりに新章形象を送る。受信者の新章形象あるまで、送信者は新章形象をする。

※ 送信する信号文のその数は、特に決まりがあるわけではない。信号文の数に応じて新章形象で区切れればよい。

中止 及び 再開

第16条7-イ		送信者			受信者			
中止 送信者から 一時中止	・	送信:	信号文	送信中				
	1	中止:	句点形象 マテ	送信を一時中止しようとするとき 注意喚起が必要な場合、適当な回数				
	3	中止:		送信一時中止☆	2	解信:	解信形象	一時中止の信号が解読できたら形象
					4	待機:		再開の指呼があるまで注視して待つ

第16条7-ロ		送信者			受信者		
中止 受信者から 一時中止を要求	・	送信:	信号文	送信中			
	1	要求:	消信形象 マテ	送信を一時中止させるとき 注意喚起が必要な場合、適当な回数			
	2	中止:		送信一時中止☆			
	3	待機:		再開の要求があるまで注視して待つ			

第16条7-ハ	送信者				受信者			
再開 送信者から 送信再開	・	中止：		送信一時中止中☆	・	待機：		再開の指呼があるまで注視して待っている
	1	指呼：	起信形象	送信を再開しようとするとき応信あるまで形象	2	応信：	応信形象	送信者が起信形象をやめるまで形象
	3	再開：	信号文	中止した数文字前から送信再開				

第16条7-二		送信者			受信者		
再開 受信者から 送信再開を要求	・	中止:		送信一時中止中☆			
	・	待機:		再開の要求があるまで注視して待っている	1	要求:	応信形象 送信の再開を要求するとき形象
	2	再開:	信号文	中止した数文字前から送信再開			

※ 取消や中止の後、再送や再開時は、取消や中止した箇所の数文字前、分かりやすい、切りのよいところから、送信すると親切だよ



イ A 3 2 	チ F 7 逆2 	ワ K 2 9 	ツ P 12 3 	ウ U 6 9
ロ 7 8 	リ G 12 	カ L 8 3 	ネ Q 9 2 1 	ヰ 6 12
ハ B 10 	ヌ H 9 4 	ヨ M 8 6 	ナ R 1 3 	ノ 3
ニ C 6 	ル 3 7 	タ N 11 5 	ラ S 5 9 	オ 1 2 3
ホ D 1 2 10 	ヲ J 1 9 	レ O 7 	ム T 7 5 	ク V 11
ヘ E 4 		ソ 5 3 		ヤ W 8 4
ト 2 5 				マ X 9 5

アルファベット、ほぼイロハ順なんだけど・・・
 ソロ オノ キルト ！

ケ Y 7 3 	ア 9 3 	エ 9 3 1 	ン 5 1 	濁点 I 13
フ Z 9 	サ 1 12 	ヒ 1 7 		半濁 14
コ 8 1 	キ 6 2 	モ 6 7 		長音 2
エ 1 逆2 1 	ユ 9 1 	セ 9 7 		
テ 6 3 	メ 3 5 	ス 1 2 5 		
	ミ 6 1 			
	シ 5 7 			

受信のときのコツ
 ① 次の文字を予想しない。
 予想が外れると混乱してしまうからだよ♪
 ② 分からないところがあっても、あせらず
 こたわらず後の文字を読むことに集中
 だよ♪
 ※ 交信法に、不明なところの送りなおしなど
 お願いする方法もあるからね。
 ③ 不明箇所も前後の文字から推測できる
 こともあるからね♪

昔の手旗信号では、
“ウ”の形象で、
⑤-②-⑨
というのがあったけど、
現在の“ウ”は、
⑥-⑨
だけだよ♪

手旗は、日本独自の旗による信号法だ。
手旗のアルファベットは日本独自だから、
外国の人との交信には使わないぞなワシ♪

イロハ	イロハニホト	チリヌルヲ	ワカヨタレソ	ツネナラム	ウキノオクヤマ	ケフコエテ	アサキユメシ	エヒモセス	ン
	色は匂へど	散りぬるを	我が世誰そ	常ならむ	有為の奥山	今日越えて	浅き夢見じ	酔ひもせず	ん

参考（スカウトは一般のカナづかいでよい）

信号カナづかい

“ヤ・ユ・ヨ”、“ツ”

☆ 小文字の“ヤ”は信号カナづかいによるものは、見受けられない。 小文字の“ツ”も同様。

例： チャック なら チヤツク となる。

☆ 小文字の“ユ”は省略されている。

☆ 小文字の“ユ”は省略されている。

	ヤ		ユ		ヨ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

斜線の“ヒウ”“ジウ”“ビュー”という
信号カナづかいは、見受けられない。
あるのかないのか不明

☆ 小文字の“ヨ”は省略され、
各行の4番目の音に置換 例外有

☆ 小文字の「ヨ」は省略され、
 各行の4番目の音に置換 例外有

	信号カナ	一般のカナ			信号カナ	一般のカナ
1	ケウ	キョー キョウ	カ キ ク ケ コ	濁音	ゲウ	ギョー ギョウ
2	セウ	ショー ショウ	サ シ ス セ ソ	濁音	ゼウ	ジョー ジョウ
※			サ シ ス セ ソ	濁音	※	ゼウ ヂョー ヂョウ
3	テウ	チョー チョウ	タ チ ツ テ ト			ヂー ヂョー ヂョウ
4	ネウ	ニョー ニョウ	ナ ニ ヌ ネ ノ			
5	ヘウ	ヒョー ヒョウ	ハ ヒ フ ヘ ホ	濁音	ベウ	ビョー ビョウ
			ハ ヒ フ ヘ ホ	半濁音	ペウ	ピョー ピョウ
6	メウ	ミョー ミョウ	マ ミ ム メ モ			
7	レウ	リョー リョウ	ラ リ ル レ ロ			



班長は学校へ（ハン**チ**ョウハ ガ**ツ**コウへ）

これが、信号カナづかいだと ハン**テ**ウワ ガ**ツ**コウ**エ** となるようだ♪

参考（スカウトは一般のカナづかいでよい）

信号カナづかい

“ 長音 ” その他

☆ 信号カナづかいで見受けられるもの 長音は ウ に置換

信号カナ	一般のカナ	
クウ	クー	クウ

コウ	コー	コウ
----	----	----

スウ	スー	スウ
----	----	----

ソウ	ソー	ソウ
----	----	----

ツウ	ツー	ツウ
----	----	----

トウ	トー	トウ
----	----	----

ノウ	ノー	ノウ
----	----	----

フウ	フー	フウ
----	----	----

ハウ	ホー	ハウ
----	----	----

モウ	モー	モウ
----	----	----

ユウ	ユー	ユウ
----	----	----

ヨウ	ヨー	ヨウ
----	----	----

ロウ	ロー	ロウ
----	----	----

信号カナ	一般のカナ	
グウ	グー	グウ

ゴウ	ゴー	ゴウ
----	----	----

ジ	ヂ	ジ
ジウ	ジー	ジウ
	ヂー	ヂウ

ズ	ヅ	ズ
ズウ	ズー	ズウ
	ヅー	ヅウ

ゾウ	ゾー	ゾウ
----	----	----

ドウ	ドー	ドウ
----	----	----

ボウ	ボー	ボウ
----	----	----

ヂは **ジ** に置換

ヅは **ズ** に置換

ポウ	ポー	ポウ
----	----	----



手旗の文字形象や交信方法などは、いろいろと初期の頃と変わっているものもあるよね♪
最初の頃は、オの文字形象はなかったみたいよ♪

☆ ㇿ・エは通常使用しない。ㇿはイを、エはエを使用。

通常、オはヲを使用する。、ただし、外来語や固有名詞等はオを使う。 例：オートバイ オカヤマケン
信号カナを無理に用いるより、誤受がないようにする。地名や名称など固有名詞は、一般のカナづかいがよいだろう。

☆ 本来の日本語は長音は使用せず、ウで伸ばす。外来語をカナで表わすとき、長音を使う。 例：ボール

☆ 助詞は、発音通り。“は”は“ワ” “へ”は“エ” 例：私は ○○へ ワタシワ ○○エ となる。

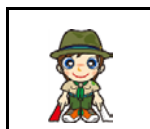
信号カナ	一般のカナ	
カ	クワ	例：菓子

信号カナ	一般のカナ	
ガ	グワ	例：外国

※昔は、菓子をクワシ 外国をグワイコク と読んでいた。現在は、カシ ガイコク なので気にする必要はない。

☆ ○月○日 本日 ○曜日 などの“日”は、“ヒ”となる。 ○ガツ○ヒ ホンヒ ○ヨウヒ

ジョン・ブラン	て～ばたしんごう 手旗信号	
ジョン・ブラン	げんかくれんしゅう 原画練習	
ジョン・ブラン	き～ごうれんしゅう 記号練習	げんしはこれだ～ 原姿はこれだ～♪



れいげんかく 零原画	いちげんかく 一原画	に～げんかく 二原画	さんげんかく 三原画
し～げんかく 四原画	ご～げんかく 五原画	ろくげんかく 六原画	だ～♪ だ～♪



しちげんかく 七原画	はちげんかく 八原画	く～げんかく 九原画	じゅうげんかく 十原画
じゅういちげんかく 十一原画	じゅうにげんかく 十二原画	じゅうさんげんかく 十三原画	じゅうし♪ 十四



きしんきごう 起信記号	おうしんきごう 応信記号	いちぶか ぜんぶの しょうしんきごう 一部か 全部の 消信記号	
とうてんきごう こんま〜きごう 読点記号	かつこきごう 括弧記号	しょうかつこきごう 小括弧記号	♪



ちゅうけいきごう 中継記号	りゃくごきごう 略語記号	く～てんきごう 句点記号	しんしょうきごう 新章記号
もんぶきごう 問符記号	しゅうしんきごう 終信記号	かいしんきごう 解信記号	♪



だくてんきごう 濁点記号	はんだくて～ん 半濁点	きじょせんきごう 帰除線記号	ちょうおんきごう 長音記号
すうじきごう 数字記号	ぜんごに はさみ 前後に はさみ	へんじを ま～つ 返事を 待つ	♪



ジョン・ブラン	て～ばたしんごう 手旗信号	
ジョン・ブラン	げんかくれんしゅう 原画十五	
ジョン・ブラン	き～ごうじゅうはち 記号十八	ごうけいさんじゅうさ～ん 合計三十三

替え歌よ♪

ジョン・ブラン	ぎやくにげんかく 逆2原画	
ジョン・ブラン	はつどうきごう 発動記号	
ジョン・ブラン	コンガラガッテ サッパリ ワカラナイ～♪	

※ 原曲や元歌は注意・・・先住民等を表わす言葉は、様々な理由(当初からの意図、時の経過、誤訳など)から差別的意味合いを持つ(持つようになった)ものがある。また、当事者たちの意識の変化もある。世界のスカウトと友情を深めるため、交流するする際、十分に気を付ける必要があります。この歌の元歌の題名で使われていた言葉は、“ネイティブ・アメリカン”“ファースト・ネーション”等と表現されるようになってきている。替え歌であっても、曲を不快に思う方もいるかも知れません。

このページ、初見者はスキップ

起信

きしん



きごう



応信

おうしん



きごう



いちぶか

ぜんぶの

消信

しょうしん



きごう



コンマ

こんま～



きごう



カッコ

かっこ



きごう



小カッコ

しょうかっこ



きごう



読点の筆記の際の記号は、
昔はコンマ(カンマ)“,”だっ
たんだ。
今は“。”だよ♪



中継

ちゅうけい



きごう



略語

りゃくご



きごう



句点

く～てん



きごう



新章

しんしょう



きごう



問符

もんぷ



きごう



終信

しゅうしん



きごう



解信

かいしん



きごう



濁点

だくてん



きごう



半濁点

はんだく



て～ん



帰除線

きじょせん



きごう



長音

ちょうおん



きごう



数字

すうじ



きごう



ぜんごに



はさみ



へんじを ま～つ



順番を覚えておいて、
形象の名称のほんのちょっと前に
動き出さないと間に合わないよ。
起信などは一回振るので
精一杯だよ♪



文字や数字のいろんな送信法

エイチ	エ			イ			チ		
形象									
原姿	1 原画	2 原画	1 原画	3 原画	2 原画	7 原画	2 原画	7 原画	2 原画



見やすくするため
原姿の絵柄と原画の第の字は
省略するね♪

スネ	ス (寸)			ネ (子)		
形象						
原姿	1 原画	2 原画	5 原画	9 原画	2 原画	1 原画



濁点や半濁点、それと 長音は、
それぞれ一文字とするのよ♪

スカウト同士の交信の場合、送信者が
記号形象などをあげたまま、降ろさな
いことがあるの～。その場合は、受信
者がその記号形象などを認識したかを
送信者が確認したいのじゃろう。その
場合、受信者は、何らかの応答をして
あげよう。

例えば、送信者の数字形象に対して、受
信者も数字形象をあげるなど♪

ボーイ	ホ			・ (濁点)	ー (長音)	イ
濁点 形象						
原姿	1 原画	2 原画	10 原画	13 原画	2 原画	2 原画

ボール	ホ			・ (半濁点)	ー (長音)	ル
半濁点 形象						
原姿	1 原画	2 原画	10 原画	14 原画	2 原画	7 原画

英単語と英単語の間は、
句点で区切ってね♪

句点は、第14原画で形象
するよ♪
半濁点の3倍の時間、旗を
あげておきます。
半濁点と区別するためよ♪

ホーニール	ホ			脱字等不明	ー (長音)	ル
脱字等不明 形象						
原姿	1 原画	2 原画	10 原画	問符	2 原画	7 原画

筆記の際の記号	1	2	10	?	2	3	7
---------	---	---	----	---	---	---	---



I d o	欧文開始			I 濁点	3倍長めに 単語区切り	d ホ	o レ	欧文終了		
和文中の欧文 形象										
原姿	小カッコ	原姿	13 原画	原姿	句点	1 原画	2 原画	10 原画	原姿	7 原画
筆記の際の記号	「		13		,	1	2	10		7

ヤノハ	略語開始			ヤ	ノ	ハ	略語終了		
略語 形象									
原姿	略語	原姿	8 原画	4 原画	原姿	3 原画	原姿	10 原画	原姿

※例： あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略することとしていた。

班で、略語を考えてね♪



20 (フレ)	3倍長めに 数字開始	2	0	数字の 傍訓開始	フ	レ	数字の 傍訓終了
数字 (傍訓) 形象							
原姿	数字	原姿	2 原画	原姿	0 原画	原姿	9 原画
筆記の際の記号	△	2	0	(	9	7	)

※上記は、数字傍訓法

数字傍訓法では、数字終了の数字形象は不要。

数字を正確に送受信するための方法	数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ
	(文字形象)	(1)→(7)	(9)	(6)→(1)	(8)→(6)	(3)→(2)	(7)→(5)	(1)→(3)	(8)→(4)	(8)→(1)	(7)

106	3倍長めに 数字開始	1	0	6	3倍長めに 数字終了
形象					
原姿	数字	原姿	1 原画	原姿	0 原画
筆記の際の記号	△	1	0	6	△

※上記は、数字原画法

数字の開始だよ～で、第13原画
数字の終了だよ～で、第13原画

この方法が一番簡単ね♪

この数字の開始と終了の合図は、
第13原画を濁点形象の3倍の時間、
旗をあげておきます。
濁点と区別するためよ♪

1.6	3倍長めに 数字開始	1	点	6	3倍長めに 数字終了
1点6 形象					
原姿	数字	原姿	1 原画	原姿	6 原画
筆記の際の記号	△	1	。	6	△

※上記は、数字原画法

上記を数字傍訓法 で送信する(筆記の際の記号で書く)と △1.6 (ヒ.ム) となるよ。



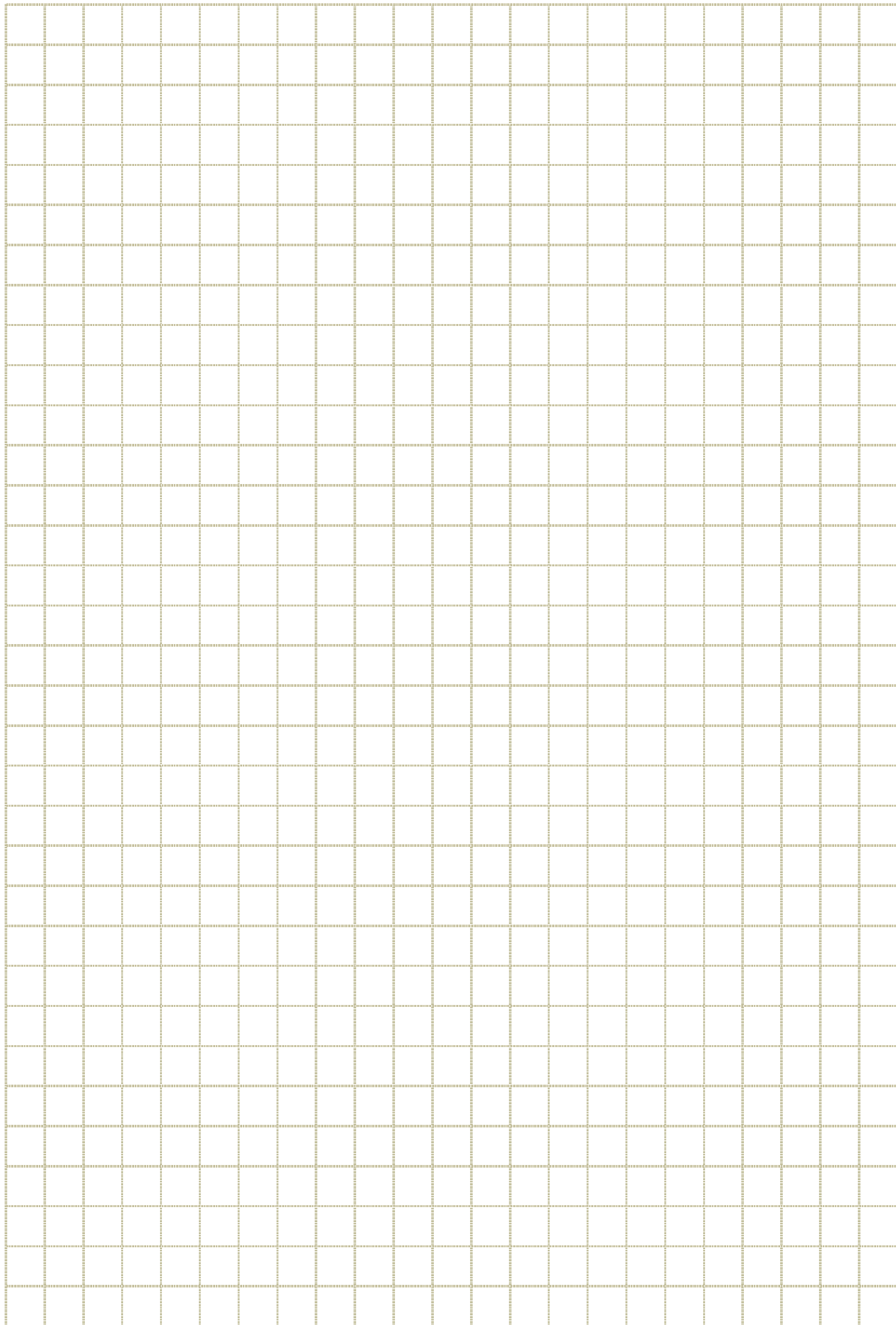
掃除線は、第11原画で形象するよ♪

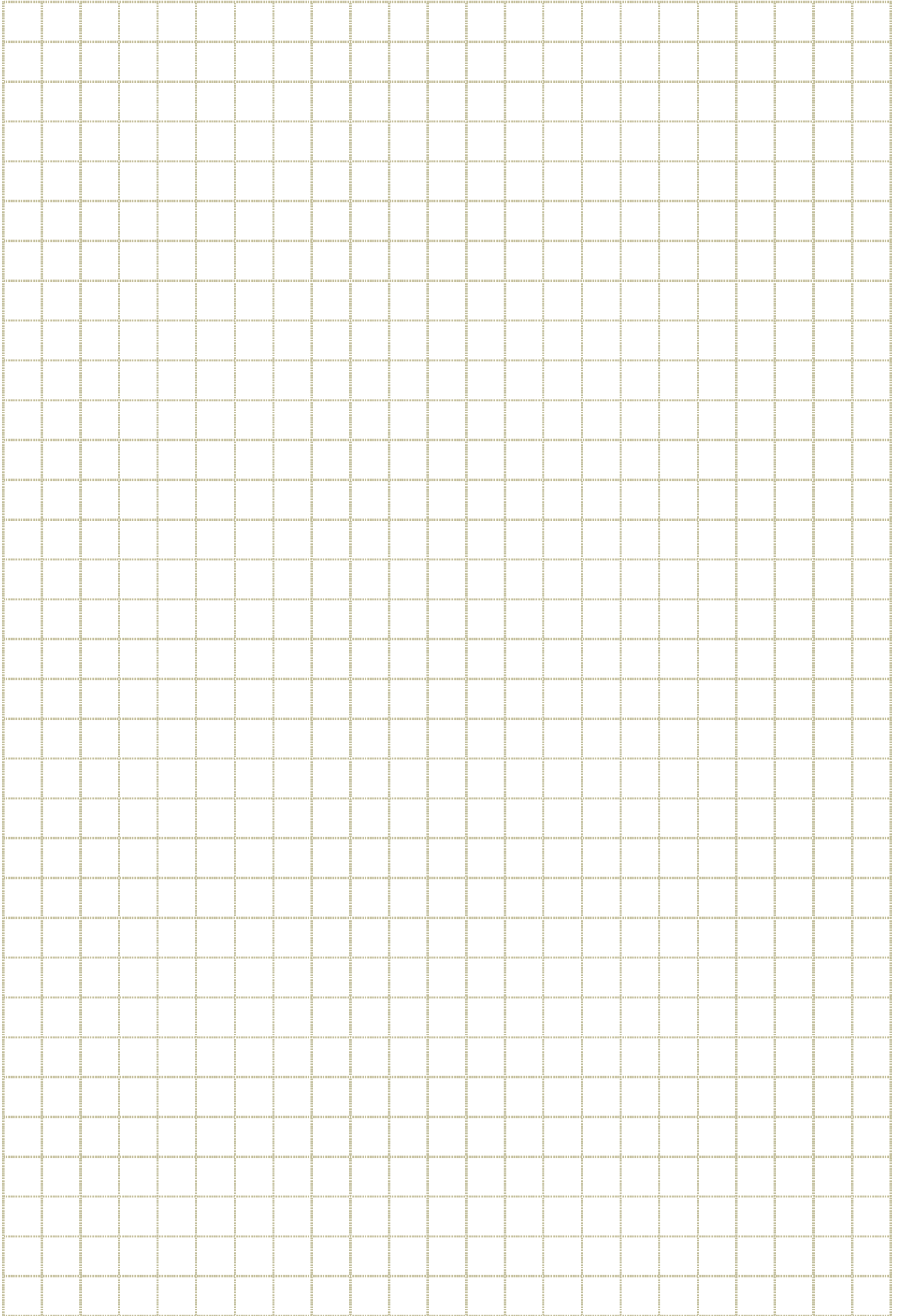


3 1/6	3倍長めに 数字開始	3	と	1	掃除線	6	3倍長めに 数字終了
3と6分の1 形象							
原姿	数字	原姿	3 原画	原姿	1 原画	原姿	6 原画
筆記の際の記号	△	3	。	1	/	6	△

※上記は、数字原画法

上記を数字傍訓法 で送信する(筆記の際の記号で書く)と △3.1/6 (ミ.ヒ/ム) となるよ。







手旗を打てるようになったら
今度は、読む練習よ♪
仲間と交代でやってみよう♪

よく練習してるね
姿勢よく 自信もって
旗がふれているね
カッコよく、素敵だね♪



送信者は、受信者がちゃんと読めるように

ていねいに
しっかり とめ
ゆっくり
きびきび

相手に伝えることが目的だよ♡

スピードは二の次さ♪



⑥-② ⑥-① ③ ①-③ ②-⑨



ボーイスカウト

連盟

第

団